

美波町 総合計画策定に関する
アンケート調査
【結果報告書】

令和4年6月
徳島県美波町

目 次

1 調査の概要	3
1 調査の目的	4
2 調査概要	4
3 報告書の見方	4
2 調査結果（16歳以上の住民アンケート調査）	5
あなた自身のことについておうかがいします	6
美波町のまちづくりについておうかがいします	9
SDGs やデジタル化についておうかがいします	22
定住意向についておうかがいします	24
SDGs やデジタル化についておうかがいします	33
あなたの生活や地域のことについておうかがいします	38

1 調査の概要.....

1 調査の目的

第3次美波町総合計画（令和5年度～令和14年度までの10年間）の策定に伴い、町民の皆さまのご意見やお考えをお伺いし、計画策定の貴重な資料とさせていただくために実施いたしました。

2 調査概要

調査票の種別、対象者、配布数、調査方法及び、調査期間は以下の通りです

調査票種別	調査対象者数 (配布数)	調査方法	調査期間	有効回収数	有効回収率
満16歳以上の住民	2,000件	郵送による 配布回収	令和4年3月28日 ～4月18日	677件	33.9%

3 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

【スコア分類による分析について】

- 「満足度」、「重要度」については、以下の方法で回答結果をポイント化し、それぞれのスコアの平均値を基準として、スコア値を5つのセグメントに分類しました。

※スコア値については、回答結果を以下の基準でポイント化したものです。

回答肢（満足度）	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満
回答肢（重要度）	重要	やや重要	どちらとも いえない	あまり重要 でない	重要でない
スコア値	+2点	+1点	0点	-1点	-2点

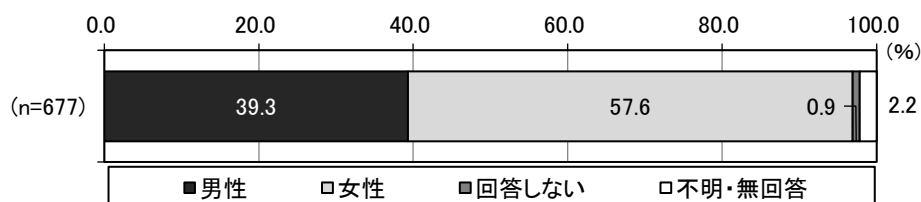
2 調査結果(16 歳以上の住民アンケート調査)



あなた自身のことについておうかがいします

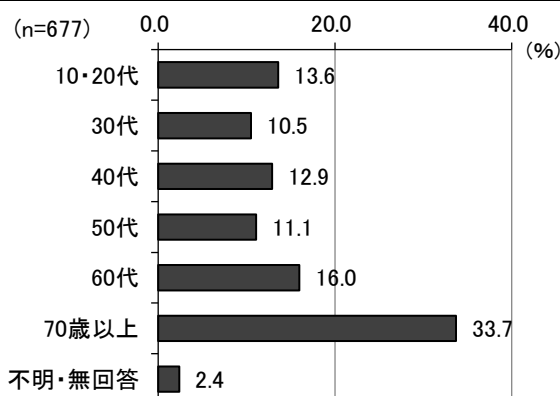
問1 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

性別についてみると、「男性」が39.3%、「女性」が57.6%となっています。



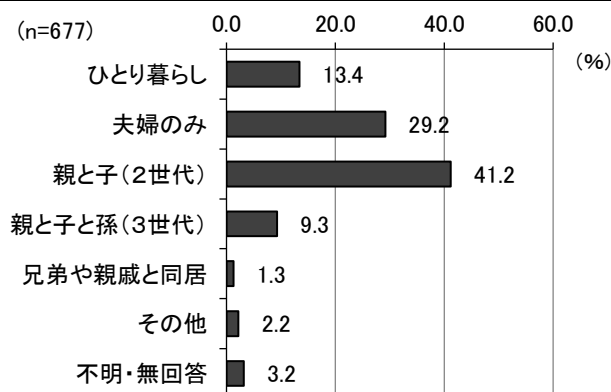
問2 あなたの年齢を教えてください。(令和4年3月1日現在)(1つに○)

年齢についてみると、「70歳以上」が33.7%と最も高く、次いで「60代」が16.0%、「10・20代」が13.6%となっています。



問3 現在一緒に住んでいる家族の構成は、次のどれにあてはまりますか。(1つに○)

家族構成についてみると、「親と子(2世代)」が41.2%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が29.2%、「ひとり暮らし」が13.4%となっています。

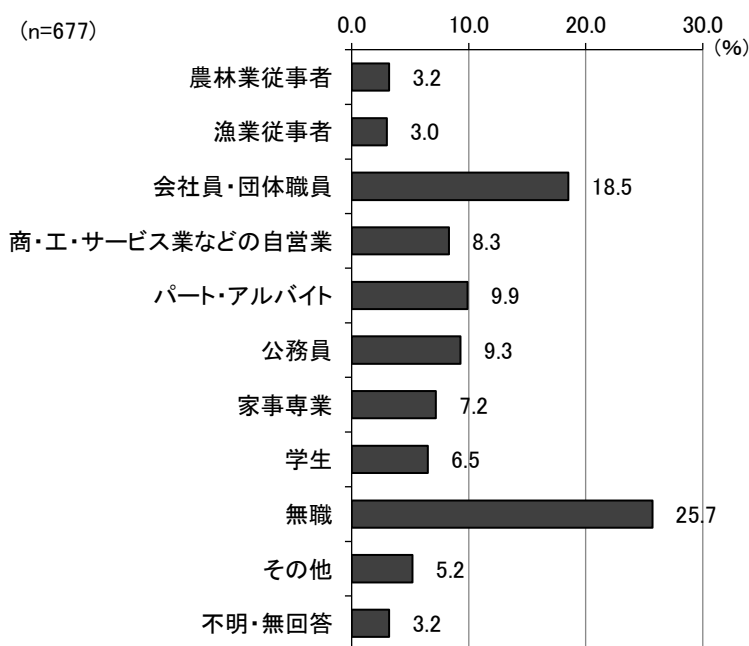


「その他」回答 (一部抜粋)

4世代 (2)

問4 あなたの現在のお勤めの状況は、次のどれにあてはまりますか。(1つに○)

勤務状況についてみると、「無職」が25.7%と最も高く、次いで「会社員・団体職員」が18.5%、「パート・アルバイト」が9.9%となっています。

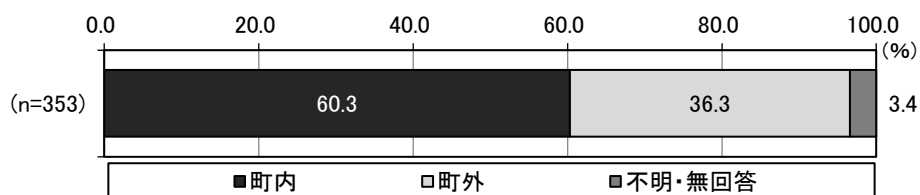


「その他」回答 (一部抜粋)	
医療・福祉関係 (4)	内職
宗教法人代表者	僧侶
非常勤講師	

※問4で、「1」～「6」を選んだ方におうかがいします。

問5 あなたの通勤・通学先はどこですか。(1つに○)

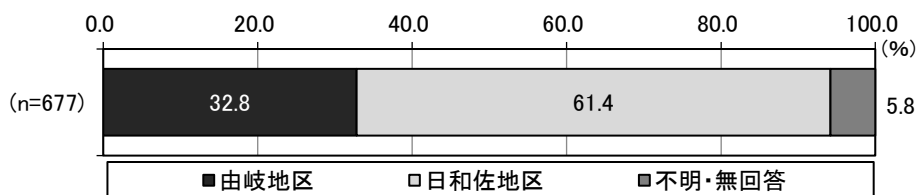
通勤・通学先についてみると、「町内」が60.3%、「町外」が36.3%と「町内」が上回っています。



「町外」回答	
阿南市 (63)	西条市
牟岐町 (18)	板野町
海陽町 (11)	藍住町
徳島市 (10)	海部郡
那賀町 (9)	徳島県内
鳴門市 (2)	町内外

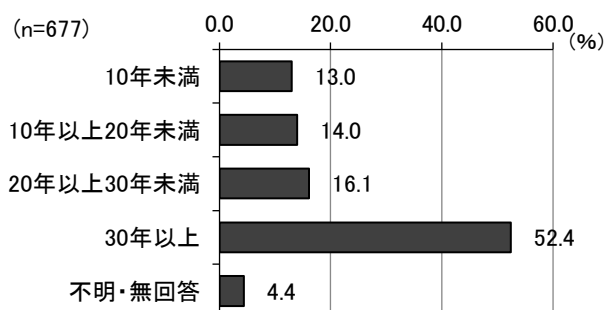
問6 あなたのお住まいの地区はどこですか。(1つに○)

居住地区についてみると、「由岐地区」が32.8%、「日和佐地区」が61.4%となっています。



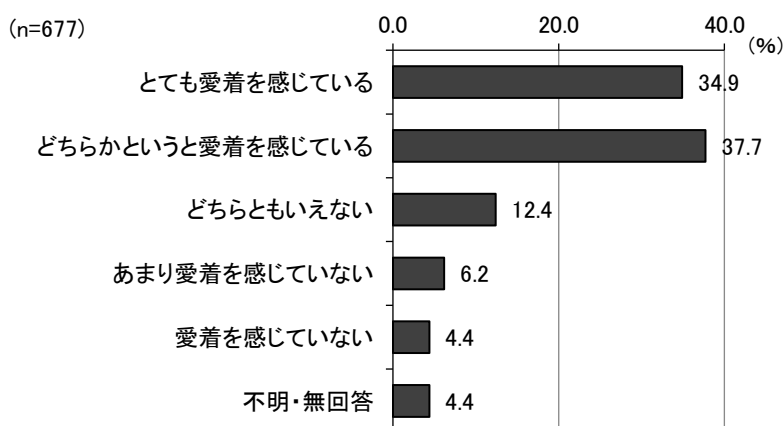
問7 あなたは、美波町にお住まいになって何年になりますか。以前に住んでいて、再び転居してきた場合は、再転居してからの年数をお答えください。(1つに○)

居住年数についてみると、「30年以上」が52.4%と最も高く、次いで「20年以上30年未満」が16.1%、「10年以上20年未満」が14.0%となっています。



問8 あなたは、美波町に対して「ふるさと」としての愛着をどの程度感じていますか。(1つに○)

美波町に対して「ふるさと」としての愛着をどの程度感じているかについてみると、「どちらかという愛着を感じている」が37.7%と最も高く、次いで「とても愛着を感じている」が34.9%、「どちらともいえない」が12.4%となっています。



美波町のまちづくりについておうかがいします

問9 美波町のまちづくり施策について、あなたの感じる「重要度」と「満足度」をお答えください。（それぞれの項目に1つずつ○）

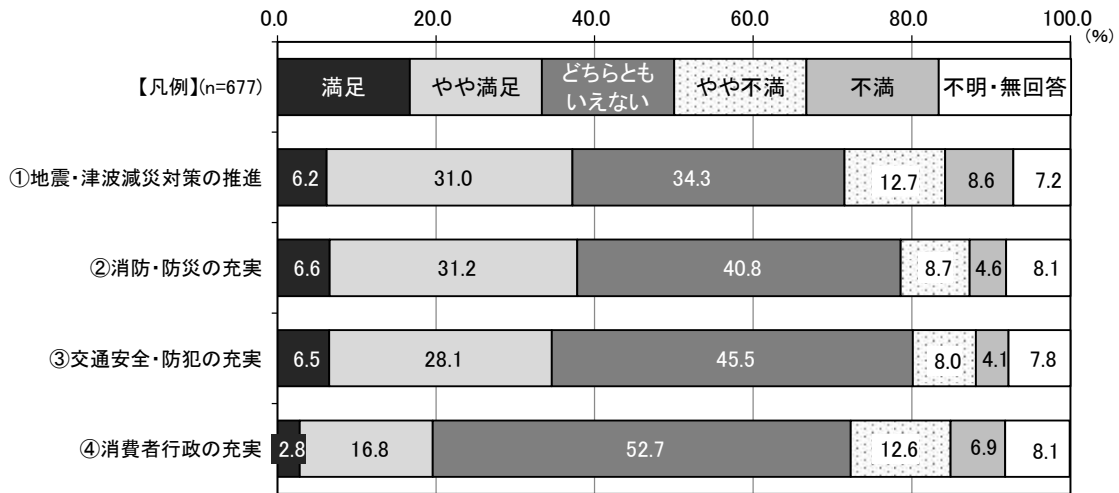
■1 安全で安心して暮らせるまちをつくります

【1 安全で安心して暮らせるまちをつくります】における満足度の高い施策（「満足」と「やや満足」の合算）についてみると、『②消防・防災の充実』が37.8%と最も高く、満足度の低い施策（「不満」と「やや不満」の合算）では『①地震・津波減災対策の推進』が21.3%となっています。

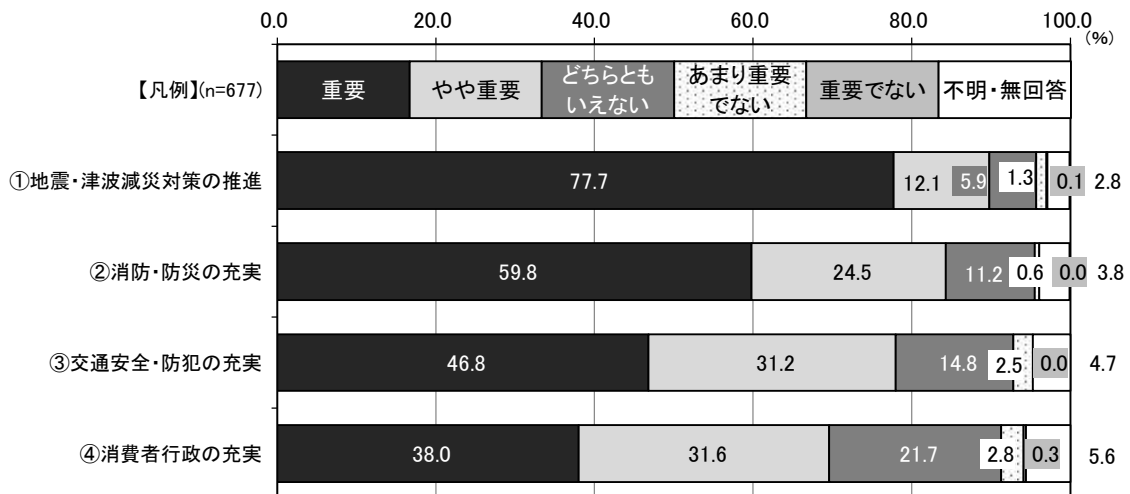
重要度の高い施策（「重要」と「やや重要」の合算）についてみると、『①地震・津波減災対策の推進』が89.8%と最も高くなっています。

1 安全で安心して暮らせるまちをつくります

【満足度】



【重要度】



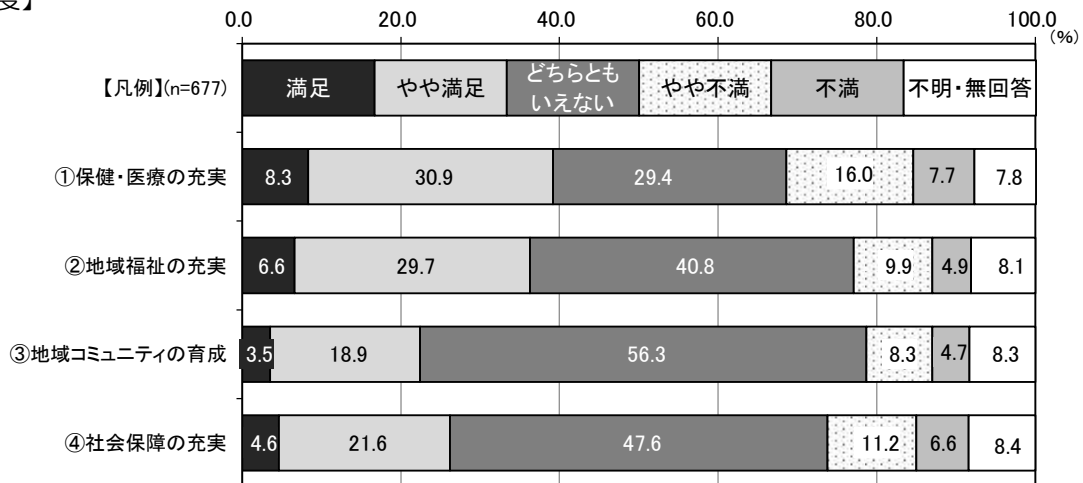
■ 2 健康で支え合うまちをつくります

【2 健康で支え合うまちをつくります】における満足度の高い施策（「満足」と「やや満足」の合算）、満足度の低い施策（「不満」と「やや不満」の合算）についてみると、いずれも『①保健・医療の充実』が最も高くなっています。

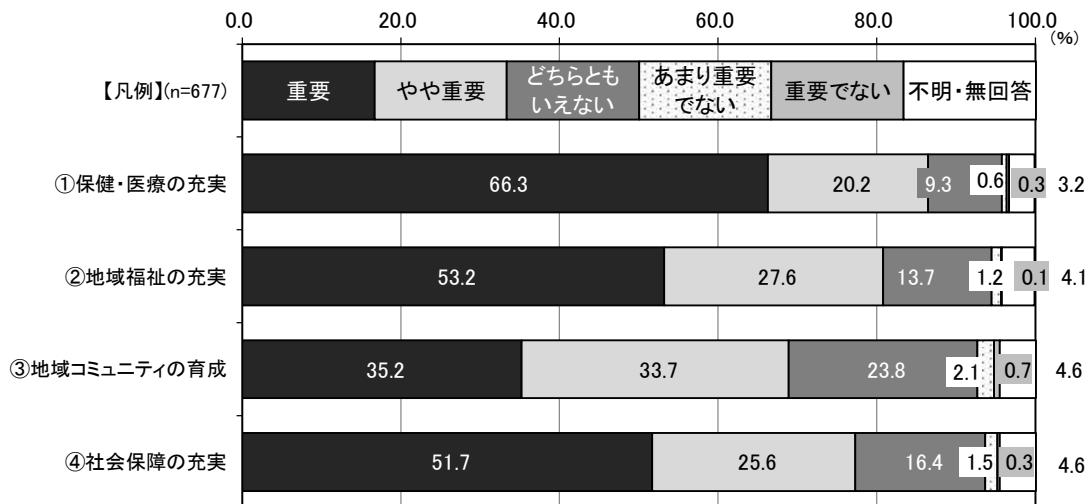
重要度の高い施策（「重要」と「やや重要」の合算）についてみると、『①保健・医療の充実』が86.5%と最も高くなっています。

2 健康で支え合うまちをつくります

【満足度】



【重要度】



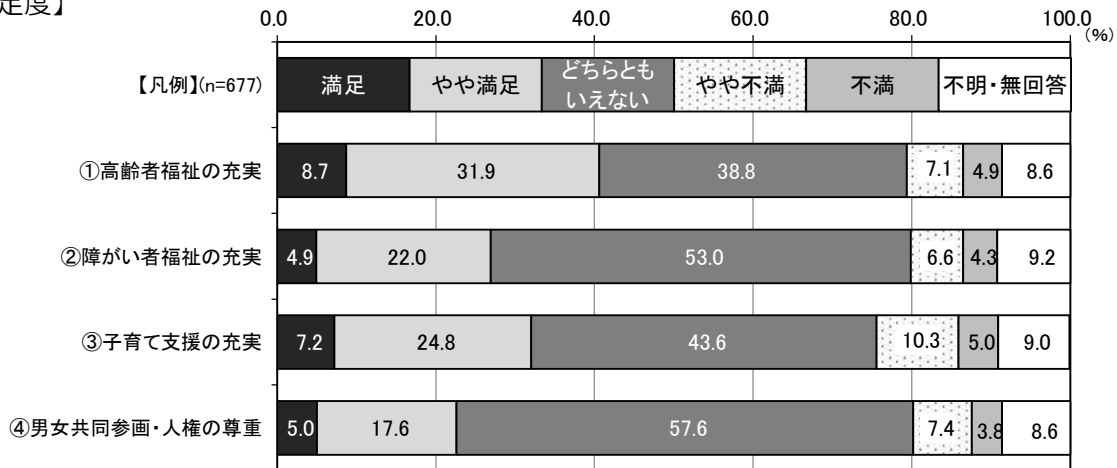
■ 3 人にやさしい子育て支援のまちをつくります

【3 人にやさしい子育て支援のまちをつくります】における満足度の高い施策（「満足」と「やや満足」の合算）についてみると、『①高齢者福祉の充実』が40.6%と最も高く、満足度の低い施策（「不満」と「やや不満」の合算）では『③子育て支援の充実』が15.3%となっています。

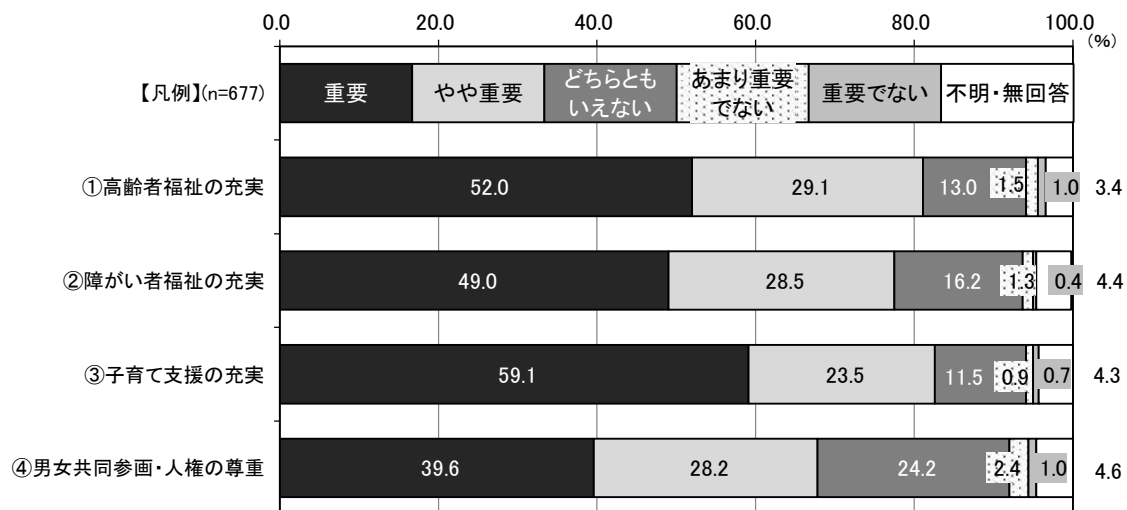
重要度の高い施策（「重要」と「やや重要」の合算）についてみると、『③子育て支援の充実』が82.6%と最も高くなっています。

3 人にやさしい子育て支援のまちをつくります

【満足度】



【重要度】



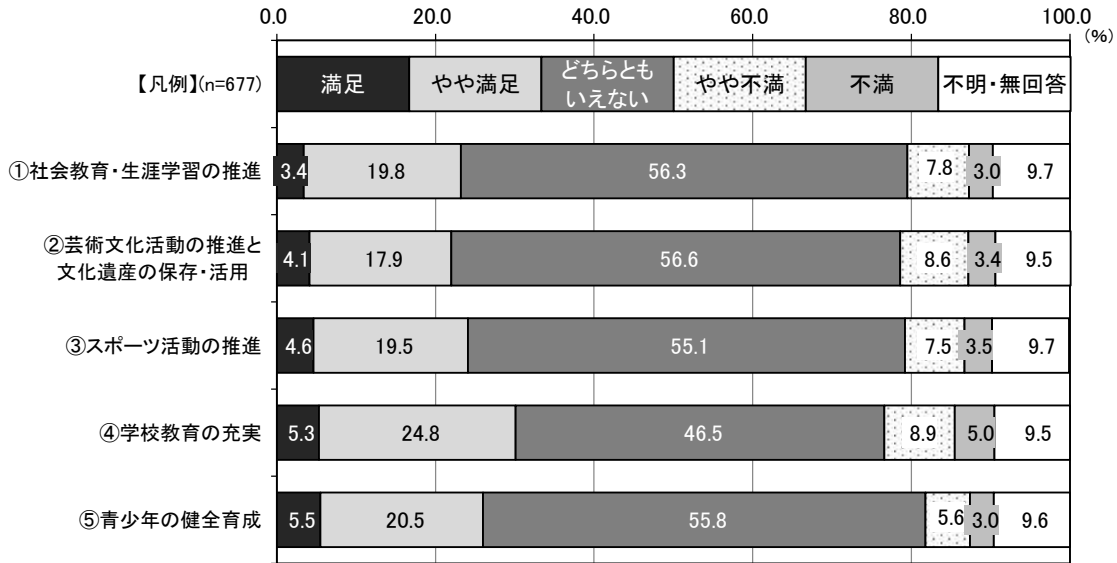
■4 学びと交流による人づくりのまちをつくります

【4 学びと交流による人づくりのまちをつくります】における満足度の高い施策（「満足」と「やや満足」の合算）、満足度の低い施策（「不満」と「やや不満」の合算）についてみると、いずれも『④学校教育の充実』が最も高くなっています。

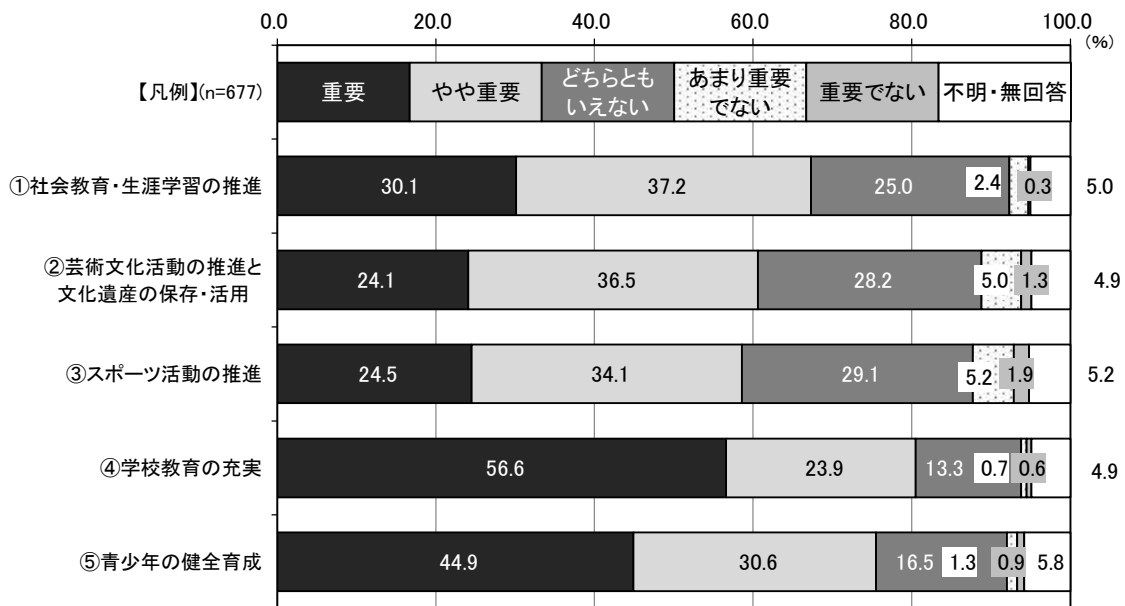
重要度の高い施策（「重要」と「やや重要」の合算）についてみると、『④学校教育の充実』が80.5%と最も高くなっています。

4 学びと交流による人づくりのまちをつくります

【満足度】



【重要度】

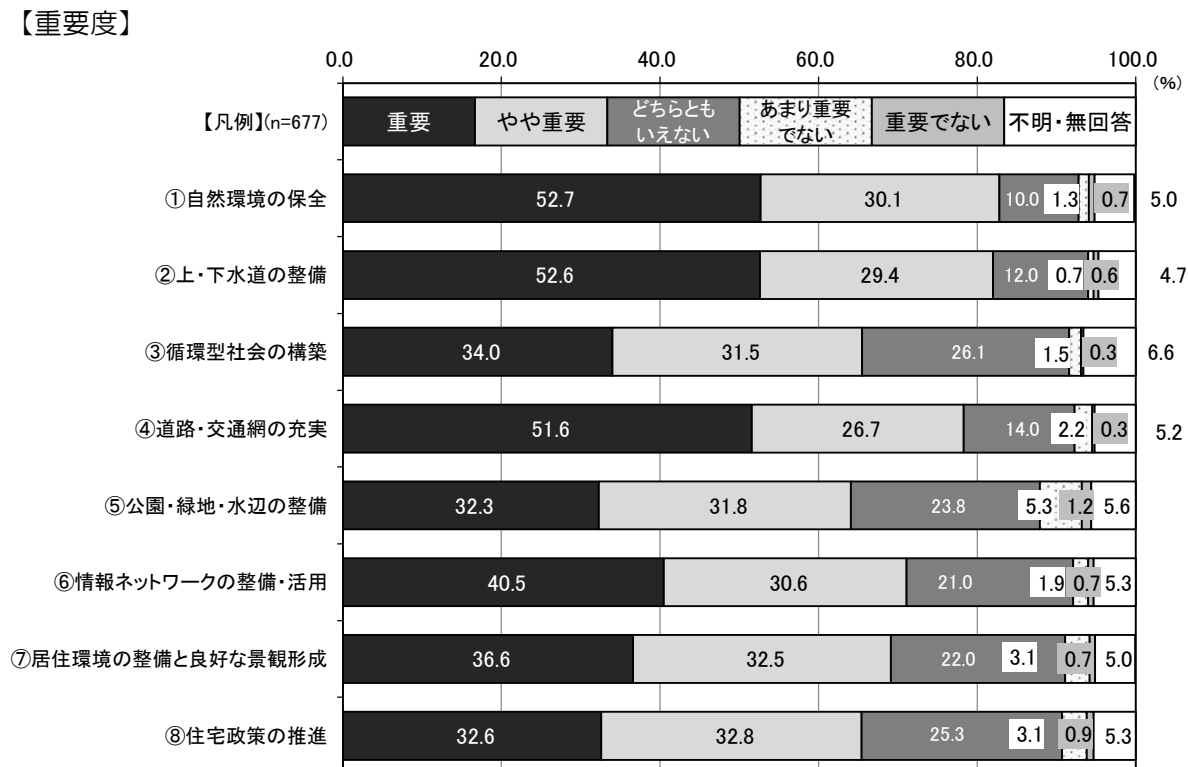
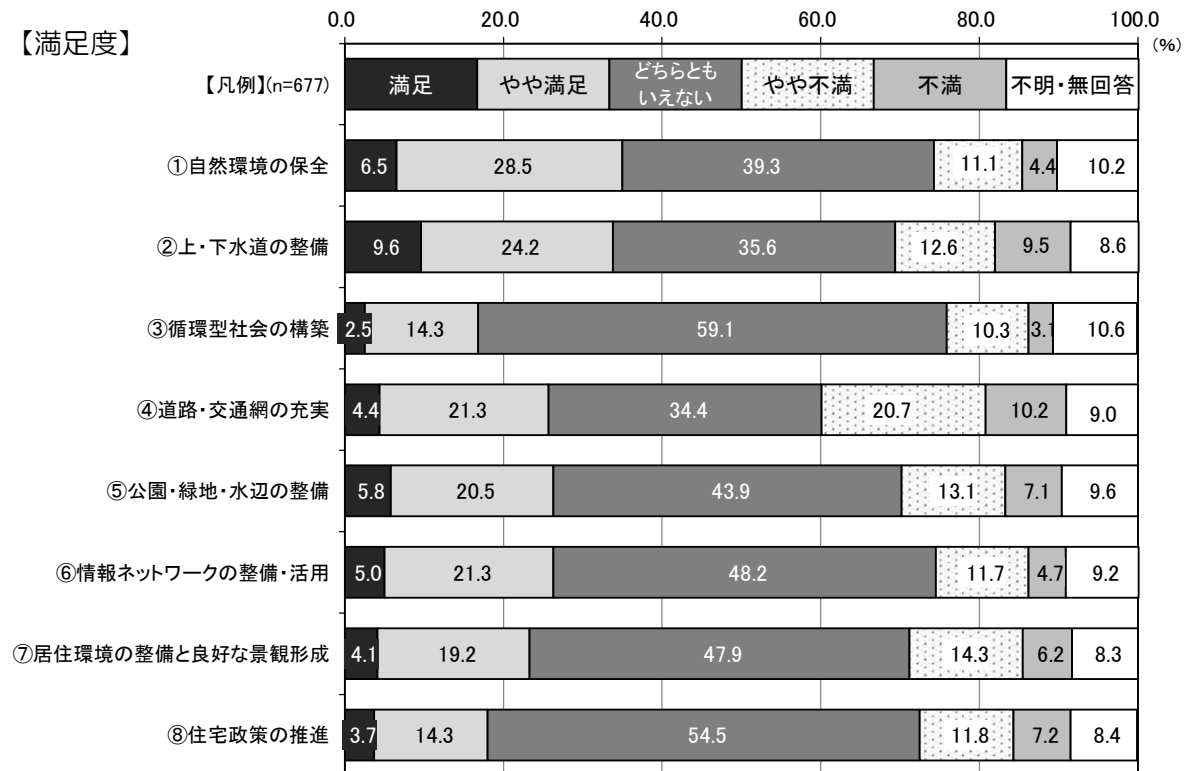


■ 5 自然と共生する快適なまちをつくります

【5 自然と共生する快適なまちをつくります】における満足度の高い施策（「満足」と「やや満足」の合算）についてみると、『①自然環境の保全』が35.0%と最も高く、満足度の低い施策（「不満」と「やや不満」の合算）では『④道路・交通網の充実』が30.9%となっています。

重要度の高い施策（「重要」と「やや重要」の合算）についてみると、『①自然環境の保全』が82.8%と最も高くなっています。

5 自然と共生する快適なまちをつくります



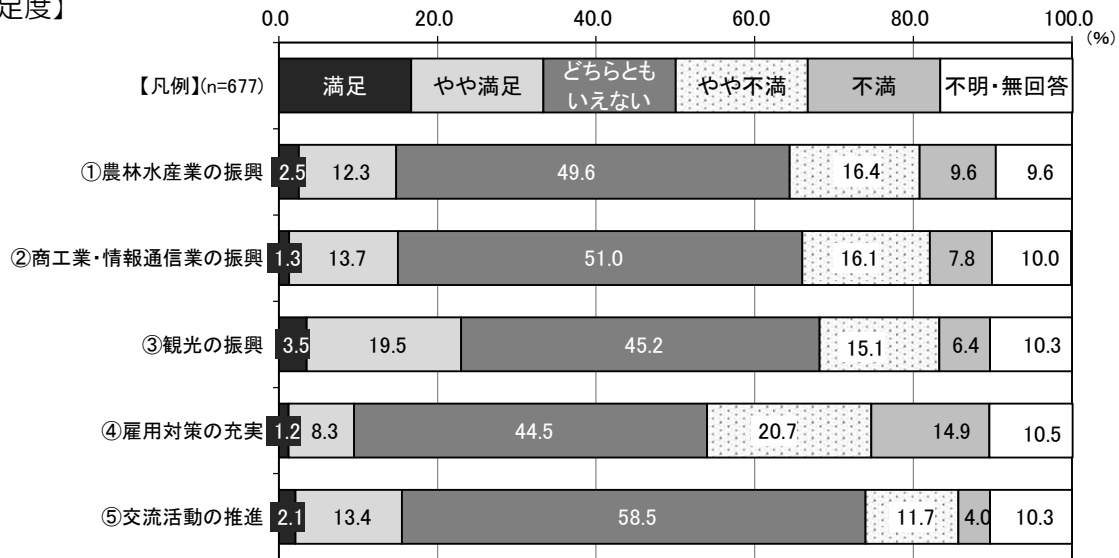
■ 6 産業が元気で働く場があるまちをつくります

【6 産業が元気で働く場があるまちをつくります】における満足度の高い施策（「満足」と「やや満足」の合算）についてみると、『③観光の振興』が23.0%と最も高く、満足度の低い施策（「不満」と「やや不満」の合算）では『④雇用対策の充実』が35.6%となっています。

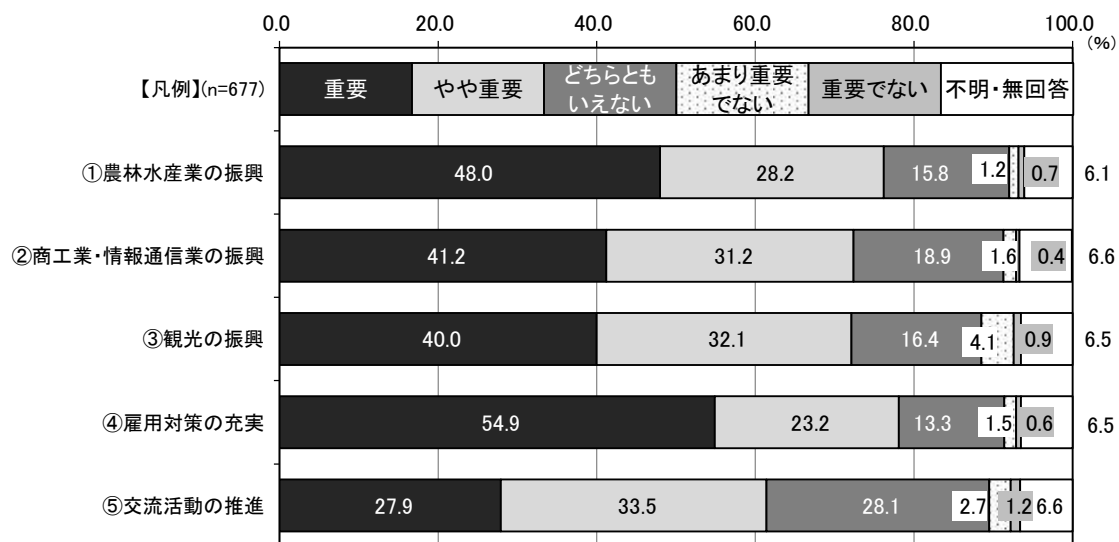
重要度の高い施策（「重要」と「やや重要」の合算）についてみると、『④雇用対策の充実』が78.1%と最も高くなっています。

6 産業が元気で働く場があるまちをつくります

【満足度】



【重要度】



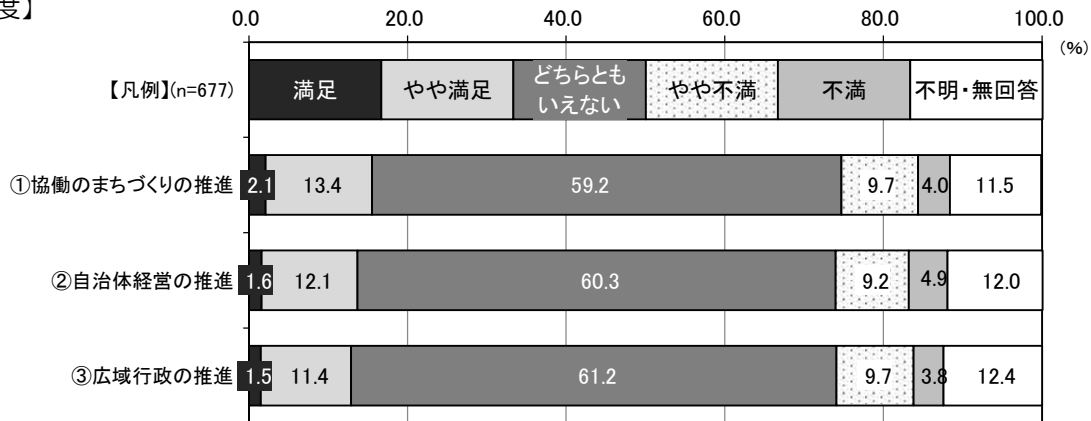
■ 7 参画と協働による自立したまちをつくります

【7 参画と協働による自立したまちをつくります】における満足度の高い施策（「満足」と「やや満足」の合算）についてみると、『①協働のまちづくりの推進』が15.5%と最も高く、満足度の低い施策（「不満」と「やや不満」の合算）では『②自治体経営の推進』が14.1%となっています。

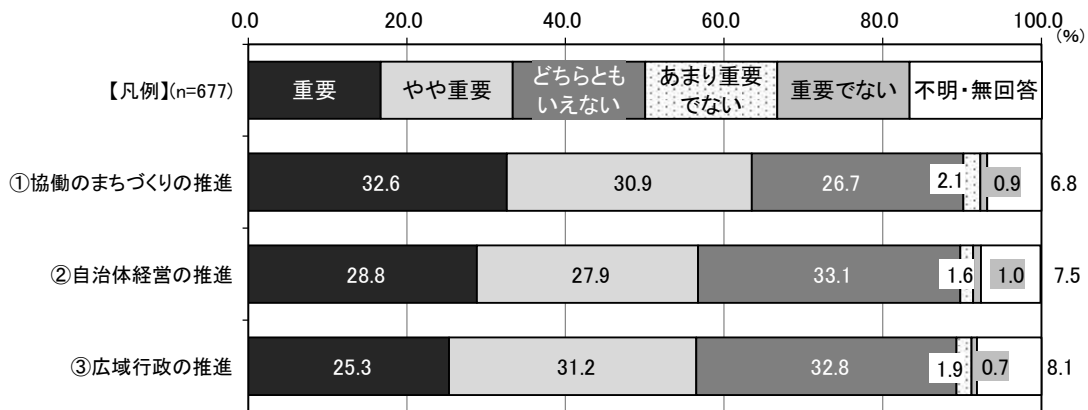
重要度の高い施策（「重要」と「やや重要」の合算）についてみると、『①協働のまちづくりの推進』が63.5%と最も高くなっています。

7 参画と協働による自立したまちをつくります

【満足度】



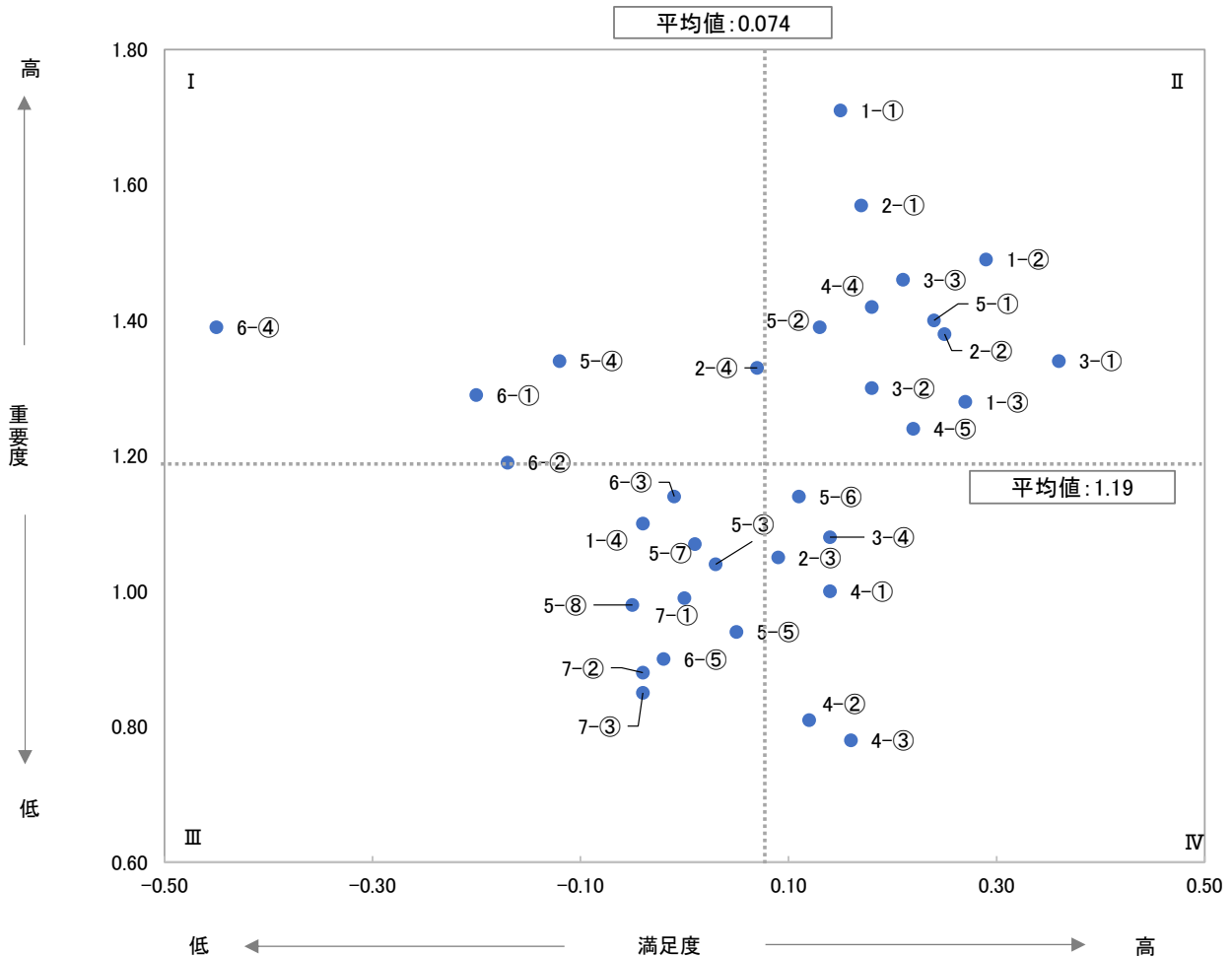
【重要度】



■満足度×重要度

重要度が高く満足度が低い取り組み（Ⅰ）は「2-④社会保障の充実」「5-④道路・交通網の充実」「6-①農林水産業の振興」「6-②商工業・情報通信業の振興」「6-④雇用対策の充実」となっており、重要度が高く満足度も高い取り組み（Ⅱ）は「1-①地震・津波減災対策の推進」「1-②消防・防災の充実」「1-③交通安全・防犯の充実」「2-①保健・医療の充実」「2-②地域福祉の充実」「3-①高齢者福祉の充実」「3-②障がい者福祉の充実」「3-③子育て支援の充実」「4-④学校教育の充実」「4-⑤青少年の健全育成」「5-①自然環境の保全」「5-②上・下水道の整備」となっています。

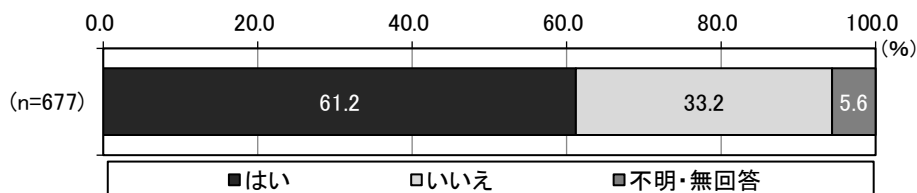
Ⅰ	重要度【高】満足度【低】	Ⅱ	重要度【高】満足度【高】
Ⅲ	重要度【低】満足度【低】	Ⅳ	重要度【低】満足度【高】



1-①地震・津波減災対策の推進	4-①社会教育・生涯学習の推進	5-⑧住宅政策の推進
1-②消防・防災の充実	4-②芸術文化活動の推進と文化遺産の保存・活用	6-①農林水産業の振興
1-③交通安全・防犯の充実	4-③スポーツ活動の推進	6-②商工業・情報通信業の振興
1-④消費者行政の充実	4-④学校教育の充実	6-③観光の振興
2-①保健・医療の充実	4-⑤青少年の健全育成	6-④雇用対策の充実
2-②地域福祉の充実	5-①自然環境の保全	6-⑤交流活動の推進
2-③地域コミュニティの育成	5-②上・下水道の整備	7-①協働のまちづくりの推進
2-④社会保障の充実	5-③循環型社会の構築	7-②自治体経営の推進
3-①高齢者福祉の充実	5-④道路・交通網の充実	7-③広域行政の推進
3-②障がい者福祉の充実	5-⑤公園・緑地・水辺の整備	
3-③子育て支援の充実	5-⑥情報ネットワークの整備・活用	
3-④男女共同参画・人権の尊重	5-⑦居住環境の整備と良好な景観形成	

問 10 あなたは、美波町が目指すまちづくりのキャッチフレーズである「“にぎやかそ” にぎやかな過疎の町 美波町」についてご存知ですか。（1つに○）

「“にぎやかそ” にぎやかな過疎の町 美波町」の認知度についてみると、「はい」が 61.2%、「いいえ」が 33.2%と「はい」が上回っています。



問 11 あなたが、他のまちの人へ教えたい「にぎやかそポイント」は何ですか。自由にお書きください。

一部抜粋

<p>■自然・景観（141）</p> <p>春になると薬王寺や城山の桜がきれいな所。</p> <p>素晴らしい自然がある町。</p> <p>自然が豊かで四季を感じつつ、安全で心豊かに散歩ができる。</p> <p>船に乗って、海を見渡すといふ所に住んでるなと思う。</p> <p>古民家を利用した個性的な建物があるところ。</p> <p>波の音、川のせせらぎ、虫の鳴き声、風に揺られて木がすれあう音といった自然の音。</p> <p>自然豊かで四季折々の草花に触れられるところ。大浜から見る景色の素晴らしさ。</p> <p>山河内に秋にコスモス畑が見られる場所があり、すぐ近くにコイがたくさんいる場所がある。</p> <p>初めて見た時のサンライン、外国の景色にも負けないと感動したが、現在周りの木が邪魔して昭和 40 年代の景色と変わっている。本当にきれかった。</p> <p>日和佐川周辺の景色。大浜海岸から千羽嶽への四国の路の景色と日の出。</p> <p>海の色はたいへん美しく思います。嫁いで来た頃、寂しかったり嫌なことがあると大浜でポーッと海を見ていました。泳ぎができる浜だったらもっとよかったですと感ずます。</p> <p>竜宮公園からのお城への山歩きの道は、美波町として自慢できると思う。徳島の若い人にこんないい所はないとうらやましがられた。</p> <p>植栽美しい手入れがゆきとどいた所がある。</p> <p>自然豊かな環境のなかでの日々の暮らしができること。</p> <p>町内を流れる清流。</p> <p>美波町の美しい山、海、自然、都会の方々に知っていただきたい。</p> <p>自然美を大切に伝えていきたい。また、古い街並を守りたい。</p> <p>田井ノ浜、大浜とも美しい。海の無い地域から来町した人はたいへん感動して眺めている。</p> <p>日和佐城から牟岐までの四国の道。磯の香かおる海岸の景色。</p> <p>季節を見て、さわって、聞いて、におって、味わって、五感で感じることができる。きれいな景色</p> <p>海や川が美しく、薬王寺よりながめる日和佐の町並、室戸国定公園にもなっている恵比須浜燈台中腹からながめる景色、城山から大浜海岸をながめる景色はどここの名所旧跡にも負けません。</p> <p>海、山、河がそろっていて、自然豊かである。海がきれい。今の時期は桜がすばらしくきれい。</p> <p>日和佐から日和佐道路へ行く時の景色（山のすばらしさ）が自慢していいポイントだと思います。宅大路の桜の美しさ、ライトアップされた桜も見応えがあります。白い灯台のホテルから見る海の景色も絶景です。夏の花火等のイベントも楽しみです。</p>

黒潮の雄大な波。温暖であり雪が降らない。
海がきれいで、夜は星がきれい。他の地域より比較的暖かいので、キャンプなどに最適だと思う。
ふらっと散歩に出ると、すぐそこに海があり、山があり、何より空気が澄んでいて気持ちがいいこと。あと、水道水が普通に美味しい。
豊かな自然とのんびりとした空気感。
大浜の雄大な景色と波城山からの山・海が一望できる景色。サンラインの展望台からの景色。
緑が多くて、気持ちがいいところ。どこを見ても景色がきれいなところ。
海があり、山もある。自然に恵まれている。海水浴場の水もきれいで、他にない体験ができる。
景観がきれいで町の雰囲気が良いこと。町中や海辺等、散歩していても気持ちが良い。
北河内の桜並木は、今年は特にきれいでした。
サーフィンをするのに適した波ができる。
田井の浜周辺の風景（よく鉄道写真を撮られている）。
大浜海岸にゴミがほとんど落ちていないことが本当にすごいと思っています。
子どもとともに自然の中で一年中遊べる環境がある。
自然と歴史・文化を持つ風情ある町並みが絶妙に配されたリアル「箱庭タウン」です。（奥河内、日和佐浦）
山河内地区や千羽海岸沿いで見られる星空。
千羽海崖の景色をみること。
日常の中にある風景（美しい自然）美波町で暮らす人々が好き。
景観のよいスポットがいっぱいある。でももったいない場所もある。美波町に住んで、40年にして初めて四国のみち「千羽海崖を臨むみち」を歩いたが、整備が不十分で残念だった。木の伐採や歩道整備ですばらしい景観スポットを維持してほしい。
海が近いこと。海と言えば夏だが、夏だけでなく、春夏秋冬全ての海の様子を知っている。海と共に生きていて、海に心を癒してもらっている。
白い灯台から眺める海や大浜海岸は最高。
祭り・行事、イベント（56）
秋祭りにぎやかなところ（一体感や8つのちょうさが奏でる太鼓の音色）。
ひわさ冬まつり。日和佐太鼓をBGMに初日の出を見る。1年の始まりとして元気をもらえます。また、今年はどんな漢字なのか楽しみにしています。
秋祭りは見るより参加するほうが楽しいので、ぜひ参加してください。
秋祭りを由岐町全体ですると若者も集い、にぎやかになるのでは。
秋祭りは他のまちの人へ教えて参加して楽しんでほしい。昔より出店が減ってきているので残念。
秋祭りの1週間前から聞こえてくる太鼓の音。
いろいろな行事があって、盛んなこと。
たくさんの方が集まって、楽しそうに笑顔を交わし合う活気ある秋祭りの雰囲気。
多彩なサークル活動の参加等、元気な高齢者にとって、最適な町です。
昔から日和佐としてにぎやかな町並み、お店であり、祭り、お薬さんと楽しい行事がたくさん。
町内一体となった運動会・秋祭、各地区のイベント。
薬王寺周辺を中心にした人々の集まり。集まってくるところ。
大浜八幡神社の秋まつりを教えたくなる。
秋祭りちょうさが海に入る姿。
秋祭りやトライアスロン大会等。
各地の秋祭り。その地区の色があり楽しい。秋の運動会も老若男女問わず皆で声を出して、笑って、走って、最高の行事。大法会（投げ銭供養）町民全員で先祖供養、尊い行事。
町外に出ていった人が、秋祭りには帰ってきて、町が賑わうところ。
地域とのつながり、人柄（39）
人間関係のやさしさ、すばらしさ、困っていると助け合える人間関係がある。
お遍路さんに誰もが声をかけるし、話をする。
移住してきた方々に対して、地元の方々がとても温かい。地域のつながりが濃い。
人があたたかいこと（声を気軽にかけ合う）

移住者が多い。
なにかある時は皆が一体となること。
他者を受け入れる（遍路、外国人（含留学生）、学生、移住者など）。町をにぎやかそうとする人々が多い。
町民の深い信仰心（神仏を大切にするところ）
「いってらっしゃい、お帰り」と声をかけてくれる近所のおばあちゃん達。地域の人との関わりが深い。
近所の人がよく物をくれる。
子どもたちのあいさつは、気持ちがいいものです。
町の人温かい人柄
近所付き合いによる助け合いができること。
町外の人が美波町にやってきても、受け入れてくれる町の人温かさ。
秋祭りや町民運動会に子どもたちが参加することで、町とつながりを感じることができていると思う。これは、他の自治体にはないことで、よいことだと思う。
人情細やかで、全体的に県内でも人間が正直で、優しい性格の人が多い。
人との絆が強い。
人情があり、住み続けたいといつも思っている。治安がよくて、何かあったらすぐに誰かが手を差しのべてくれる。
散歩していると地域の人たちがよく話しかけてくれるところ。
薬王寺（25）
23 番札所がある町。
薬王寺から見る美しい町の風景。
薬王寺が大好きです。
大きい寺院の一角である薬王寺は、かなり自慢。
薬王寺の瑜祇塔から眺めた民家と自然が調和した風景。
薬王寺の上から見た立島を臨む町並みと太平洋。
ウミガメ（19）
日和佐の海亀の産卵。
薬王寺や周辺のお店や観光。
海亀の来る浜辺。
うみがめが産卵にくる海があること。
海亀の町。
カレットの存在は大切だと思う。
住みやすさ（17）
浮かれない生活。普段が貫かれている生活。
事件の無い町。
子どもにとって安全な町。
自然が豊かで身近にあり、まちも人も静かであることが安心できて暮らしやすい。
町が静かで住みやすいこと。
時間に追われ焦燥感にさいなまれない、マイペースなスローライフ。土地価格が安い。自然が豊か。心も豊か。
町が静かなところ。
海や山が美しい。町内が住みよい町。
子育てがしやすい気候、環境。
美波町が好きで、町外に出て行っても帰って来る人が多い。
交通事故・事件など少ない安全な町である。
自然や祭りなどがあり、日和佐はとて素晴らしい所だと思う。
1日をゆっくり過ごせること。
町民が心地よく生活することができる。
二人目以降保育園無料。

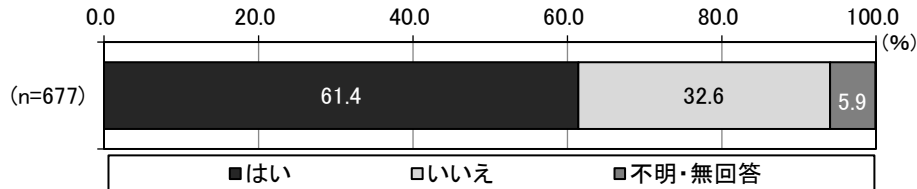
大浜海岸周辺が散歩コースとなり高齢者には過ごしやすいし、子育て世代にもよい環境である。
農水産物（14）
魚や野菜が新鮮でおいしい。
魚介類の多いこと。
地場で水揚げされる魚や貝、エビなど。
おいしい食材。
魚介類がおいしい。
おいしい伊勢海老、アワビ、ウニ。
漁業による新鮮な海産物が身近にある。
海があるから海水浴や釣りができる。あじ、たちうお、かますなどのおすしがおいしい。
美波町で獲れる海産物は、自慢して町外、県外の知人に送れます。
商業施設・道の駅（11）
すてきなお店がたくさんある
門前町のにぎやかさ。
おいしい飲食店がある。
日和佐のアジュール昭吾堂が好きです。
桜町の商業的な賑わい。
まめぼんカフェのパスタがおいしい。天花もおいしい。
飲食店が増えてきている。
道の駅の豊富な地元の商品等。
観光（10）
「千羽海崖、薬王寺、上陸数は減ってはいるが赤海亀」観光地としての目玉である自然文化遺産も揃っているため交流人口増加で町の活気を奮い立たせる。過疎をにぎやかに盛り上げる。
伊勢エビあみ漁体験、いただきさん体験、クルーズ、秋祭りのだんじり
すばらしい田井の浜を情報発信して観光に生かしてほしいと願っています。
観光で人を呼び寄せる魅力ある町。
海から見た風景。恵美須洞と神社。満足神社。由岐の秋祭り。吉野神社。岡崎神社。ぼっぼマリノ。いただきさん。峯神社。ノースアメリカン号の話など。
自然豊かな環境で俳句の種がいっぱいあります。全国のお遍路さんの句碑が建立されている「俳句の小径」全国の句碑を建立されお遍路さんが度々訪れてくれます。お遍路さんは四国のセールスマンです。由岐支所はトイレをきれいに清掃して下さっていて、お遍路さんに好評です。萩神で有名な木岐の樽見さん。木岐の「津波の碑」も重視して下さい。お遍路の「みちしるべ」は大好評です。
伊勢海老祭り等、たくさんの方が訪れてくれるようなことが、町を盛り上げると思います。
うみがめ博物館カレッタで亀の剥製やクマノミもいて、なかなかできない体験ができると思います。前には海が見えるので解放感があります。
子どもの頃は、磯遊び等が楽しかったが、漁業権などの事情で、磯遊びができなくなった。漁業者が時期や時間を設定し、足をまくり遊べる程度の観光入磯を検討してはいかがでしょうか。磯周辺が漂流物で汚れているので、それらを撤去整備した上で。
キャッチフレーズについて（7）
キャッチフレーズ何かよくわからない。（にぎやかなのがよくない。）
「にぎやかそ」とはそもそも何か。行政だけが一人歩きしているようで、住民が後からついていけない感じ。
キャッチフレーズがどのように決まったのか知りませんでした。
「にぎやかそ」というキャッチフレーズは、とてもよいと思う。私の住む由岐地区では、全く「にぎやかそ」だと言えない。
キャッチフレーズがとてもよい。「にぎやかそ」シールを車の後ろに貼りたい。
「にぎやかそ」という言葉が、大嫌いです。それは、まだ美波町が真の過疎地域だと認めたくないし、ただの「にぎやかし」が大嫌いだからです。地に足がついた伝説と歴史を大切にしつつ、これからは穏やかで、楽しい豊かな町でありますよう、願い、努力していきたいと常々思っています。
特になし（8）

その他 (34)
公民館活動いろいろあり、無料、誰でも参加できる。
雇用がある会社、工場が誘致されればよいのではと思います。
外を歩いていても人に会うことが少なく、寂しく感じる。わくわくするようなことが少ない。
田井の浜駅、駅から数歩で海岸は珍しい。
不要と思います。
日和佐、由岐が一体となり盛り上がれていないような気がする。木岐、由岐など放ったらかしのようだ。
鯉の SNS が周囲の人から一番反響があった。
今、コロナであらゆることがストップしている。自慢したい物があっても誰にも伝えられない。
背伸びをしない、身の丈に合ったこと。今あるものに磨きをかける。地域に誇りを持つ。
小さい子どもがたくさん居るような町に、昔のように運動会、弁当を持って、わいわいしたい思い。
美波町のどこかで、自分が行動を起こし、人が集まること、声を掛け合えること。
やかましくなく、静かに過ごしたいです。にぎやかなのは、嫌いです。
便利で暮らしやすい町だったらいいと思う。
一部の地域だけで（日和佐）美波町のくくりでは答えが見つかりません。
町民全員が祭り好きではないことを理解していただきたい。
竜宮公園や日和佐病院跡地など地域の各所に「広場」（スポット交流場）を作ることと合わせ、トイレを整備すること。秋祭りは地域住民が負担に思えるほど高齢化している。秋祭りはやめてもよい。
他町で仕事をしていますが美波町のことを「積極的に進んでいる町である」というふうに言っています。鼻が高いです。
1家族における子どもの数が少子化にしては多い。（3から5人兄弟など）子どもを見かけるとお年寄りが喜んでくれる。
昔は、田井ノ浜に夏、海水浴でたくさんの方が来て、にぎやかであったので、海の家などを充実させて、町に活気を取り戻したい。田井ノ浜は、すごくきれいだと思う。
コロナ対策で2回も無料で商品券をくれたこと。行政の方と住民との距離が近く感じる（よい意味で）。
子どもの遊ぶ声のする町にしたいです。
人もウミガメも還る美波町。
日和佐図書資料館の設備が充実してきたこと。新刊の選択や特設コーナーが毎回楽しみで通っている。
町にアートが増えたこと。
由岐は、一番に田井ノ浜です。キャンプとかバーベキュー施設等、もう少し力を入れてほしい。
忘れられない海。学校でクラス替えがない。
嫁に来て50年余り、その当時は大浜には大木の松もあり自慢でした。漁港には漁船が多く漁もあり、春にはお遍路さんの行き来で活気がありました。今では住み慣れもありますが当時の人が高齢になり、状況は一変しています。これからの子どもたちに美波町の魅力をどう伝えられるか、わからない。

SDGs やデジタル化についておうかがいします

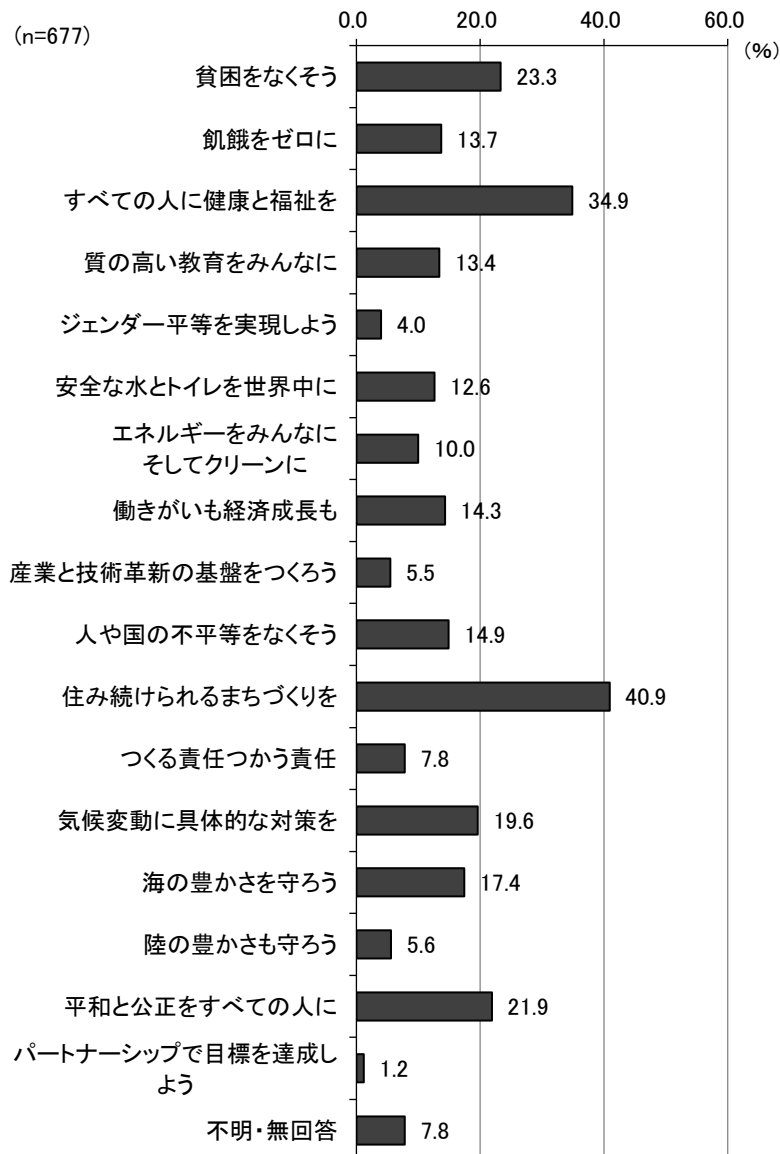
問 12 あなたは、2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標である SDGs をご存知ですか。(1つに○)

SDGs の認知度についてみると、「はい」が61.4%、「いいえ」が32.6%と「はい」が上回っています。



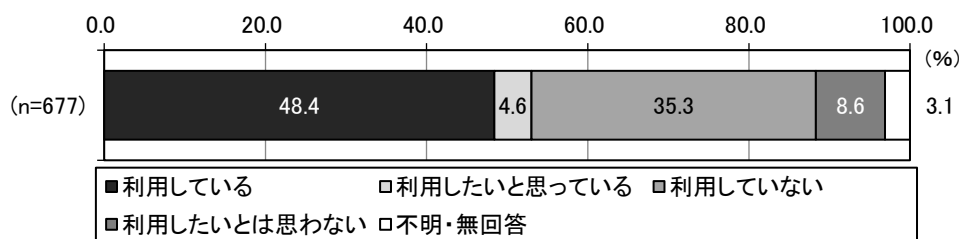
問 13 SDGs の 17 の目標のうち、特に大切なことだと共感できるものは何ですか。(3つまで○)

SDGs の 17 の目標のうち特に大切なことだと共感できるものについてみると、「住み続けられるまちづくりを」が40.9%と最も高く、次いで「すべての人に健康と福祉を」が34.9%、「貧困をなくそう」が23.3%となっています。



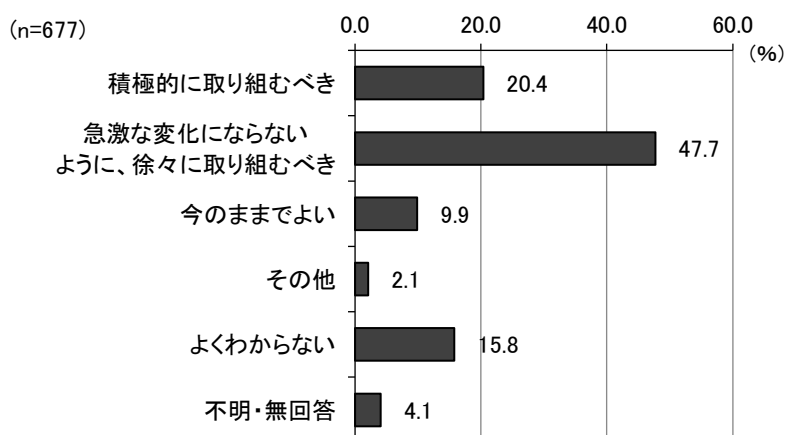
問 14 あなたは普段、キャッシュレス決済などを利用しますか。(1つに○)

普段、キャッシュレス決済を利用するかについてみると、「利用している」が48.4%と最も高く、次いで「利用していない」が35.3%、「利用したいとは思わない」が8.6%となっています。



問 15 AI や RPA の導入等デジタル化の進展により、行政サービスについては「利便性向上」「インフラ管理コストの低減」などが期待されます。このような取り組みについて、どのように思いますか。(1つに○)

デジタル技術の活用による行政サービスの「利便性向上」「インフラ管理コストの低減」などの取組についてみると、「急激な変化にならないように、徐々に取り組むべき」が47.7%と最も高く、次いで「積極的に取り組むべき」が20.4%、「よくわからない」が15.8%となっています。

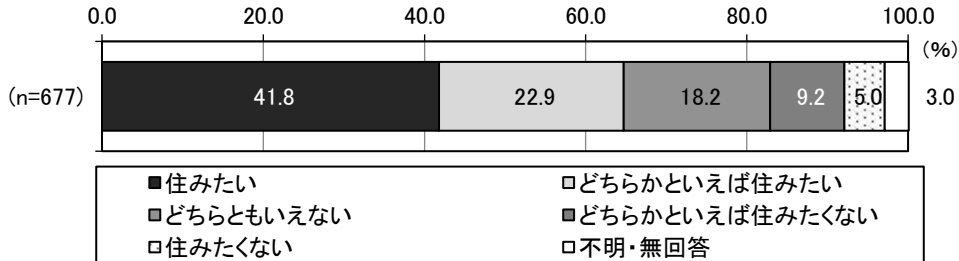


「その他」回答 (一部抜粋)	
使いこなせない	
人の手をできるだけ大事にしてほしい	
利便性はその人次第	
導入して変わるか	
若い人ならOK、年寄りには不可と思われる。60代以上の一部は大丈夫か	
AIやRPAばかりになるより、人と人との関わり合いが重要	
機械化ばかりはだめ、人はコミュニケーション	
コスト削減のためのコストがかかりすぎるのが問題	
高齢者は操作が困難	
取り組むべき。皆が使いやすいように使い方を教えてほしい。示してほしい。	
一長一短	

定住意向についておうかがいします

問 16 あなたは、これからも美波町に住みたいと思いますか。（1つに○）

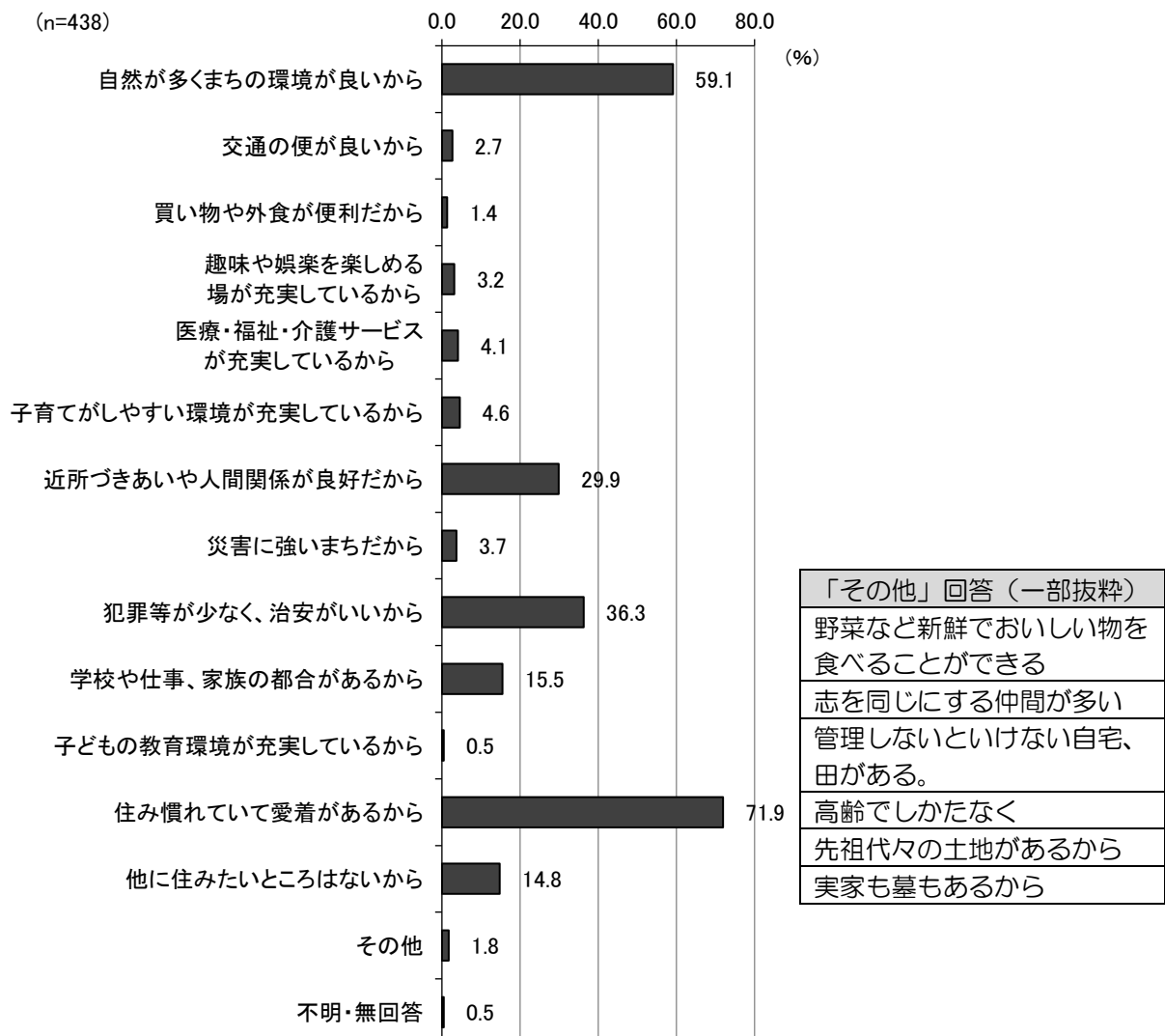
今後も美波町に住み続けたいかについてみると、「住みたい」が41.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば住みたい」が22.9%、「どちらともいえない」が18.2%となっています。



※問 16 で、「1」「2」を選んだ方におうかがいします。

問 17 美波町に住み続けたいと思う主な理由は何ですか。（3つまで○）

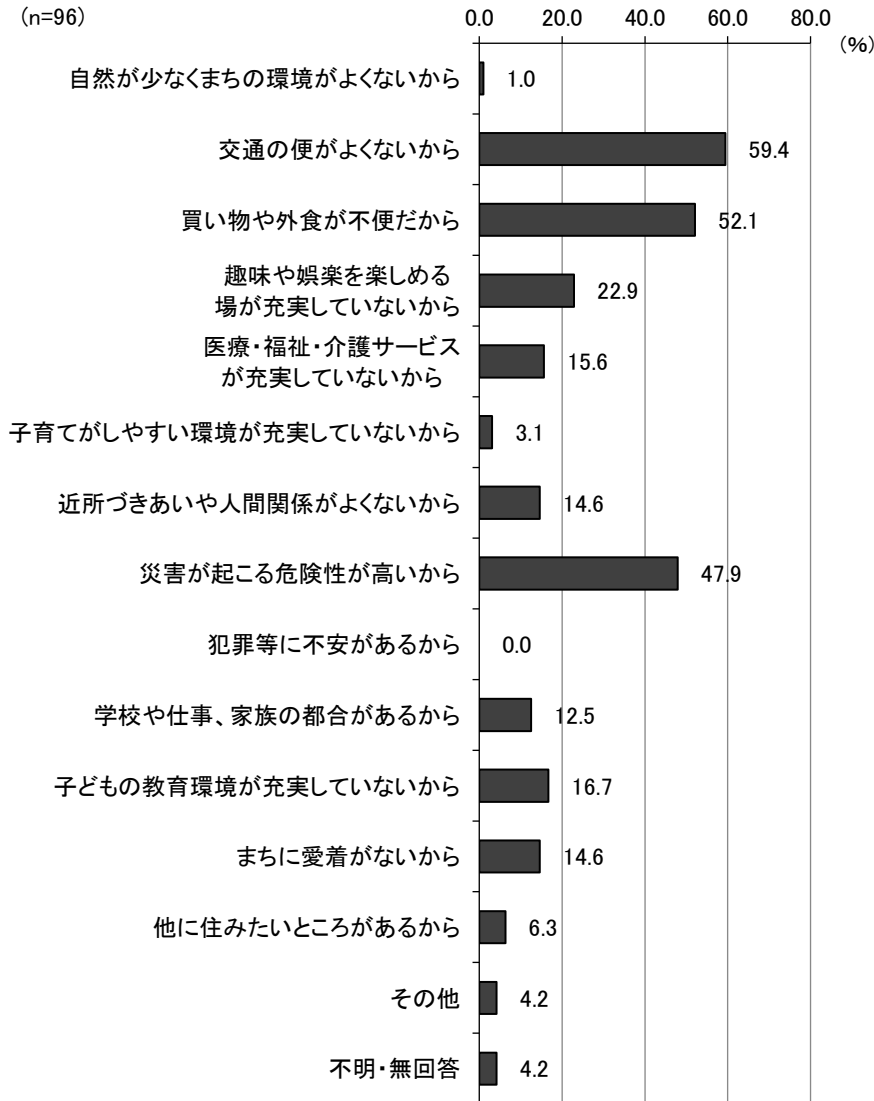
美波町に住み続けたいと思う主な理由についてみると、「住み慣れていて愛着があるから」が71.9%と最も高く、次いで「自然が多くまちの環境が良いから」が59.1%、「犯罪等が少なく、治安がいいから」が36.3%となっています。



※問 16 で、「4」「5」を選んだ方におうかがいします。

問 18 美波町に住み続けたくない主な理由は何ですか。(3つまで○)

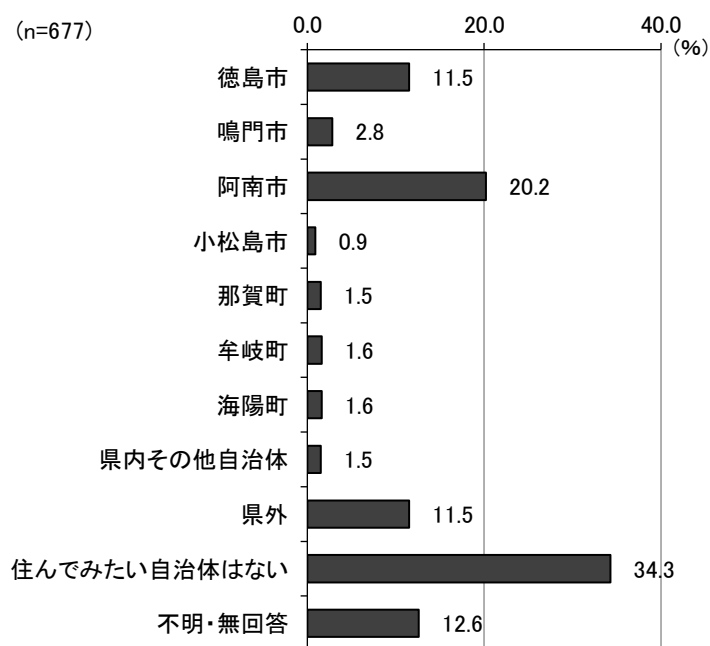
美波町に住み続けたくない主な理由についてみると、「交通の便がよくないから」が59.4%と最も高く、次いで「買い物や外食が不便だから」が52.1%、「災害が起こる危険性が高いから」が47.9%となっています。



「その他」回答（一部抜粋）
職がない（企業がない）
求人がないから
仕事が少なく、子どもも町外に出ていくから

問 19 美波町以外で住んでみたいと思う自治体はありますか。(1つに○)

美波町以外で住んでみたいと思う自治体についてみると、「住んでみたい自治体はない」が34.3%と最も高く、次いで「阿南市」が20.2%、「徳島市」「県外」が11.5%となっています。



「県内その他自治体」回答
上勝町 (3)
藍住町 (3)
勝浦郡

「県外」回答 (一部抜粋)		
大阪府 (11)	和歌山県 (2)	埼玉県
東京都 (5)	京都府 (2)	関西地方 (3)
兵庫県 (5)	山梨県 (2)	関東地方 (2)
香川県 (5)	沖縄県 (2)	都市圏
神奈川県 (5)	宮城県	南九州
北海道 (3)	愛媛県	津波の心配のない県
岡山県 (3)	静岡県	

■ 町外に定住意向×性別・年齢別・通勤、通学地域・愛着別

[問19×問1・問2・問5・問8／クロス集計]

美波町以外で住んでみたいと思う自治体について性別にみると、全体的に「住んでみたい自治体はない」が最も高く、次いで「阿南市」となっています。

性別

上段:件数		問19 美波町以外で住んでみたいと思う自治体はありますか。(1つに○)										
下段:%		合計	徳島市	鳴門市	阿南市	小松島市	那賀町	牟岐町	海陽町	県内その他自治体	県外	住んでみたい自治体はない
性別	全体	592	78	19	137	6	10	11	11	10	78	232
		100.0	13.2	3.2	23.1	1.0	1.7	1.9	1.9	1.7	13.2	39.2
	男性	237	32	7	50	2	4	2	6	3	29	102
		100.0	13.5	3.0	21.1	0.8	1.7	0.8	2.5	1.3	12.2	43.0
	女性	338	44	11	86	4	6	9	5	6	45	122
		100.0	13.0	3.3	25.4	1.2	1.8	2.7	1.5	1.8	13.3	36.1
	回答しない	5	-	-	-	-	-	-	-	1	2	2
		100.0	-	-	-	-	-	-	-	20.0	40.0	40.0
	不明・無回答	12	2	1	1	-	-	-	-	-	2	6
		100.0	16.7	8.3	8.3	-	-	-	-	-	16.7	50.0

美波町以外で住んでみたいと思う自治体について年齢別にみると、全ての年代で「住んでみたい自治体はない」が最も高く、次いで『10・20代』では「徳島市」「県外」、その他の年代では「阿南市」となっています。

年齢別

上段:件数		問19 美波町以外で住んでみたいと思う自治体はありますか。(1つに○)										
下段:%		合計	徳島市	鳴門市	阿南市	小松島市	那賀町	牟岐町	海陽町	県内その他自治体	県外	住んでみたい自治体はない
年齢	全体	592	78	19	137	6	10	11	11	10	78	232
		100.0	13.2	3.2	23.1	1.0	1.7	1.9	1.9	1.7	13.2	39.2
	10・20代	85	19	2	17	1	2	1	-	3	19	21
		100.0	22.4	2.4	20.0	1.2	2.4	1.2	-	3.5	22.4	24.7
	30代	68	13	1	17	-	1	1	-	2	11	22
		100.0	19.1	1.5	25.0	-	1.5	1.5	-	2.9	16.2	32.4
	40代	79	4	7	19	-	2	3	2	4	17	21
		100.0	5.1	8.9	24.1	-	2.5	3.8	2.5	5.1	21.5	26.6
	50代	74	11	1	21	-	-	1	1	-	9	30
		100.0	14.9	1.4	28.4	-	-	1.4	1.4	-	12.2	40.5
	60代	92	14	6	21	-	4	1	2	1	5	38
		100.0	15.2	6.5	22.8	-	4.3	1.1	2.2	1.1	5.4	41.3
	70歳以上	181	16	1	41	5	1	4	6	-	14	93
		100.0	8.8	0.6	22.7	2.8	0.6	2.2	3.3	-	7.7	51.4
	不明・無回答	13	1	1	1	-	-	-	-	-	3	7
		100.0	7.7	7.7	7.7	-	-	-	-	-	23.1	53.8

美波町以外で住んでみたいと思う自治体について通勤・通学先別にみると、『町内』では「住んでみたい自治体はない」が最も高く、『町外』では「阿南市」が最も高くなっています。

通勤・通学先別

上段:件数		問19 美波町以外で住んでみたいと思う自治体はありますか。(1つに○)										
下段:%		合計	徳島市	鳴門市	阿南市	小松島市	那賀町	牟岐町	海陽町	県内その他自治体	県外	住んでみたい自治体はない
通勤・通学先	全体	319	47	14	76	1	8	6	4	6	46	111
		100.0	14.7	4.4	23.8	0.3	2.5	1.9	1.3	1.9	14.4	34.8
	町内	196	24	10	34	1	5	3	2	6	29	82
		100.0	12.2	5.1	17.3	0.5	2.6	1.5	1.0	3.1	14.8	41.8
	町外	112	21	4	37	-	3	3	2	-	17	25
		100.0	18.8	3.6	33.0	-	2.7	2.7	1.8	-	15.2	22.3
	不明・無回答	11	2	-	5	-	-	-	-	-	-	4
		100.0	18.2	-	45.5	-	-	-	-	-	-	36.4

美波町以外で住んでみたいと思う自治体について美波町に対する愛着別にみると、全体的に「住んでみたい自治体はない」が最も高くなっていますが、『あまり愛着を感じていない』では「阿南市」が最も高くなっています。

美波町に対する愛着別

上段:件数		問19 美波町以外で住んでみたいと思う自治体はありますか。(1つに○)										
下段:%		合計	徳島市	鳴門市	阿南市	小松島市	那賀町	牟岐町	海陽町	県内その他自治体	県外	住んでみたい自治体はない
美波町に対する愛着	全体	592	78	19	137	6	10	11	11	10	78	232
		100.0	13.2	3.2	23.1	1.0	1.7	1.9	1.9	1.7	13.2	39.2
	とても愛着を感じている	204	25	5	40	1	4	5	2	2	20	100
		100.0	12.3	2.5	19.6	0.5	2.0	2.5	1.0	1.0	9.8	49.0
	どちらかというとな愛着を感じている	227	31	8	62	2	5	3	7	4	25	80
		100.0	13.7	3.5	27.3	0.9	2.2	1.3	3.1	1.8	11.0	35.2
	どちらともいえない	73	8	2	16	2	-	1	1	1	16	26
		100.0	11.0	2.7	21.9	2.7	-	1.4	1.4	1.4	21.9	35.6
	あまり愛着を感じていない	37	7	3	9	-	1	2	1	2	7	5
		100.0	18.9	8.1	24.3	-	2.7	5.4	2.7	5.4	18.9	13.5
愛着を感じていない	30	5	-	6	1	-	-	-	-	1	10	
	100.0	16.7	-	20.0	3.3	-	-	-	-	3.3	23.3	
不明・無回答	21	2	1	4	-	-	-	-	-	3	11	
	100.0	9.5	4.8	19.0	-	-	-	-	-	14.3	52.4	

※問 19 で、「1」～「9」を選んだ方におうかがいします。

問 20 問 19 で選んだ自治体に住んでみたいと思う理由は何ですか。

一部抜粋

利便性が良いから（169）
買い物が便利。交通の便もよい。
生活に困らない利便性がよい。
買い物をする際に便利だし、美波町に帰る際に近いから。
交通の便がよい。物資が豊富。医療が充実。
買い物が便利（ほとんどの物がそろう）。
本土の方が便利だから。
関西に近いから。
知人も多く、地理に慣れている。買い物、病院も便利で治安もよい。
ある程度利便性が高く静けさがあるところ。
住みやすい。生活しやすい。
県内で最も栄えており、娯楽を楽しめる場が充実しているから。
美波に近くて、便利だから。
買い物や娯楽施設の充実。
交通の便、店舗（スーパー）などが充実している。
自分の趣味を活かす施設が多いから。交通の便がよい。
衣食住が整っている。
教育環境が整っていて、福祉も充実しており、交通の便がよい。
いろいろなお店がある。子どもを連れて遊びに行ける所がある。（子育て支援事業が充実している）
県都であり、あらゆる面で優遇されている。自然もあり、町でもあるため。
交通の便と医療機関が充実している。
徳島市内は、美波町から距離があるし、阿南なら近くで便利な点から。
買い物に便利。交通の便がよい。医療が充実している。自然がある。
買い物便利。いろいろな施設があって利用しやすい。美波町は店が少ない。
会いたい人がいる。食べる所多い。イベント等への参加利便性。遊べる所が多い。
医療、買い物、教育にとっても便利。人口も多く、町が生きていると感じられる。
小学校、中学校、高校とすべて揃っている。買い物、食品だけでなく、衣服を買える場所が充実している。医療も選べる利点がある。趣味、娯楽等楽しめる場所もあるため。
これから歳を重ねると、買い物とか病院に便利だから。いつまでも車の運転ができないから。
北、南どちらへ行くにも便利。田舎だが、日常の買い物の品揃えや価格の面で買い物しやすい。
高齢になってからの医療、生き方を考えたら。
バス、汽車の本数が多い。スーパーなどが多く、コンビニもあるので便利。
学校、病院等、公共インフラの充実。企業など就職先が多い。賃金など労働条件もよい。
交通機関が充実している。美波町は、交通機関（汽車及びバス）が不便。
車がなくても生活ができるから。
税金が安くて、交通、買い物、学校等、便利でよい。
地理的に近畿圏に移動しやすい。
交通の便利、県外へ行くのも便利。買いたい物がすぐ買いに行けるし、選択肢が多くなる。
サービスが充実していて、学校や仕事にも都合がよい。買い物なども便利。
市内に行くのも便利。自然とも近い気がする。病院も近くにあり、物価も安い。
香川県は住みやすい、便利、教育熱心な土地柄だから。災害が少なそうだから。
交通の便、医療の充実、芸術、趣味などにふれやすい。
医療、学校、仕事などが美波より充実しているため。
病院、買い物に便利。阿南から徳島の列車の本数が多い。
便利で医療サービスが充実している。

公共交通機関が整っており、商業施設、医療機関が多いから。
近くに買い物に行けること。病院が近くにあるから。
生活全般の利便性が高いから。
医療や福祉の面、交通の面で便利だから。
交通の便がよく、仕事や買い物などが便利だから。
ある程度、静かでありながら、医療、福祉、介護、買い物が便利。
将来的に高速道路が通り、店も多く、様々な面で利便性がよいから。
徳島ヴィルティスの試合観戦に便利。県外への移動や旅行が便利。
お店が多く、電車ですぐどこへでも行ける。お店と生活との距離が近いのはありがたい。
親族・知人がいるから (29)
友人がいるから。
子どもが阿南に住んでいるから。
小中高の同級生が多数住んでいるから。
実家がある。家族が在住している。
両親の近くでいてあげられるから。
実家で母が一人暮らしなので。
知人がいるし、アクセスもそう不便ではないため。
娘が徳島市に在住。
将来、子どもたちの側に行きたいから。高齢者です。
兄が住んでいるから。
娘がいるし、スーパーもいろいろあるし、病院に行くのも近いので。
息子夫婦と同居するから。
家族が県外で暮らしているから、自分で身のまわりのことができなくなったら今の家で生活を続けられないと思うので。
友人が多い。
頼りになる親族が居る。徳島赤十字病院に近い。芸術、文化、スポーツの開催がよくある。
出身地、住んだことがあるから (21)
移住してきたが、自分の出身地に戻りたい。
家族の出身地だから。
前に住んでいたので、今と比べて住みやすかった。
一度住んでいたところであり、家族もいるから。
生まれたところだから。
地元なので。
妻の実家があり、後継ぎがないから。
土地があるから。
以前住んでいたからということもありますが、映画館やホール（演劇やコンサート、美術展など）があり、文化芸術に触れる機会が身近だった。
以前住んでいた。交通の便がよく、仕事も多い。公園テーマパーク、大阪、神戸、京都に近く、とにかく便利、楽しい。物価が安い。
前に住んでいて、とても便利だったから。住みやすかった。
石垣島に住んでいたから。離島という性質もあるのですが、スーパーも病院も娯楽もすべてが手の届く距離にあり、非常に暮らしやすかったため。
以前に住んだことがあるから。
以前に自衛隊で香川方面（善通寺）に居たことがあり、そのこともあって、今までに何回も香川（主に高松）、岡山へ行ったことがあるので。
生まれ育った町だから。
地元が近いから。
通勤・通学に便利だから (17)
習い事、高校に近いから。
通勤に便利。

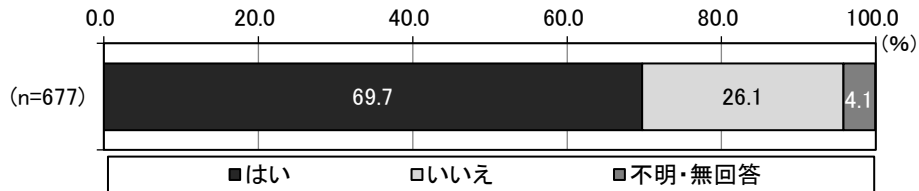
美波町からそれほど離れていない。高校など通学がしやすいと思う。
学校や働き場が多い。
仕事場に近い所
仕事のため。県内では就職環境が充実しているとは言えない（賃金が都市部より低い）。
人口が多いから。大学があるから。
大会社がある。
職場がある。仲間が多い。
子どもの人数が多い所に住んで、大きな学校にも通わせてみたい。
会社の通勤や買い物が近いので。
職場に近いから。
自然環境が良いから（11）
自然が豊かにありそう（雪、景色、農産物）
あたたかく海がきれいなので。
花がきれい。くだものが多い。
自然が豊かだから。
空気がきれいなところだと思ったから。
自然に恵まれている。町全体が元気。
自然が多いのがよい。
自然も豊か、ゴミのリサイクルも進んでいる。
山の生活もしてみたい。
災害が少ないから（10）
南海地震が心配されるので、美波町は災害から逃れられない。
津波や地震の災害から家族を守れそうな地区。
阿南の内陸では津波の心配が少ないと思う。
美波町にはあまり安全な場所がない。
災害、津波のない所で住んでみたい。
津波の心配があるので、高台に住んでみたい。
現在、夫婦世帯ですが、どちらかが一人になると徳島市の娘の所へ行くことになっています。それまでも大地震が起こるかもしれない、津波で行方不明なんて、と考えると今でも離れたい気持ちです。
他の土地に住んでみたいから（7）
住んだことがないので。
行ったことのない憧れ。
都会で経験を積んで、地元で活かしたいから。
遠くに行ってみたいから。
南九州に憧れる。
若いうちに、都会に出て、住んでみたいから。
特に理由はない（4）
その他（43）
日和佐町民は他人の生活や行動に干渉する人が多い。
活気がある。田舎は安全ですが寂しい。気分がふさぎ込む。徳島市ではいろいろなカルチャー教室もあるし、おいしい店もある。ただ車の運転は何倍も気を使って疲れます。
山が好きなのでのんびりと畑などして暮らしたい。
平野部多く明るい。店舗が多い。
羽ノ浦の急成長な所。若者が家を建てて、いろんな店も増えて来て、海からも遠い。徳島まで近い。
よく遊びに行くから。
人間の心があたたかいから。人間らしいから。
美波町にない物が他たくさんある（体験できる）
時間が止まっているような街並みでとても惹かれる。
くるくるなるとやスケボー施設など、どんどん新しい取り組みを入れて変化もあり、住んでいるだけでわくわくしそう。

文化レベルが高い。
葉っぱビジネスの現場を見て、勉強したい。
美波町とよく似ている。
歴史的建造物がたくさんあるから。
景観、雰囲気がよく、いろいろな産業が充実している。
美味しい食べ物がたくさんあるし、人が心から優しそうだから。
文化的催し、イベントの機会が多いから。
美波町にないものがある。
趣味を楽しめる場が近いから。
水がおいしい。住みやすい。
栄えている。
できるなら日本中のいろいろな所。夏は涼しい、冬は暖かい。
変化が楽しい。
富士山をいつも眺めていたいから。また、温泉も多いから。
社会保障と治安。
京阪神に近い。海があり、商店も充実し、気候が安定していそうだから。
日本で初めて「ゼロ・ウェイスト」を宣言した自治体で、環境問題について学びながら暮らすことができそうだから。
好きな場所。
人が温厚だから。
交通面や買い物、遊びが充実しているから。人と人の距離感が近過ぎず、人付き合いをそんなに気にせず過ごせるから。人が多いので、仕事面でも様々なチャンスがある。

移住の促進についておうかがいします

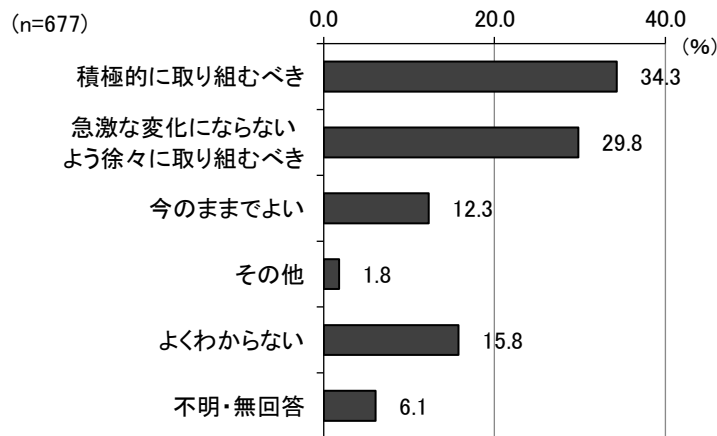
問 21 美波町では、移住を促進するための取り組みが行われていることをご存知ですか。 (1つに○)

移住を促進するための取り組みの認知度についてみると、「はい」が69.7%、「いいえ」が26.1%となっており、「はい」が上回っています。



問 22 移住促進の取り組みについて、あなたはどのように思いますか。(1つに○)

移住促進の取り組みをどのように思うかについてみると、「積極的に取り組むべき」が34.3%と最も高く、次いで「急激な変化にならないよう徐々に取り組むべき」が29.8%、「よくわからない」が15.8%となっています。



「その他」回答 (一部抜粋)
取り組まなくてよい(5)
少子化はとまらない
あまり関心がない
移住者だけを優遇せず、出身地にとられず、美波町で頑張る人々すべてに恩恵があるような取り組みをするべき
求人をよく準備してから行って下さい
今まで住んでいる人たちも平等にしてほしい

問 23 移住促進の取り組みについて、ご意見があれば自由にお書きください。

一部抜粋

支援制度、環境の充実について (62)
空き家を安く貸し出し、耕作放棄されている土地を安く貸し出す。
パートナーシップ制度を取り入れれば目をひくかもしれない。
促進と同時に定住しやすい土壌作りも重きをおいてほしい。
学校教育、通学に不便。
飲食店ばかりで共倒れの感あり。農家による空地も多いので、そちらへの移住も進めてもよい。大きな勤め先が無い。
地場産業の魅力を宣伝して、働く所の確保。
変化を肯定する風潮が必要。
若者住宅など空いているが、家賃が高いため入居しないと思う。今住んでいる人も出ていくようになるので、見直しが必要と思う。
移住された方と元々の住民の間にトラブルが起きないようにすべき。悪しき伝統の押し付けがないよう、また逆に地域の輪を悪い意味で乱さないようにサポートが必要だと思う。
移住者に住宅を用意する場合、補助はいいけど無料にはしなくてもいいように思う。
より住める場所の提供が促進されるように周辺住民の理解、家屋の提供があればよい。
移住者の方の住居が足りていないので空き家などの活用を。
職がなかったら移住してくれないのではないか。
地域に 10 年以上住んでいた関東からの移住者夫婦が、家賃が高いということで山河内へ引越されました。お子様が中学生になられ塾代等教育費がかかる時期です。残念です。地域活動に熱心だったご夫婦で、中高生の家庭に家賃補助または子ども手当等があればと言っていました。
雇用対策の充実。
若者が住みやすいような町にしてほしい。市内でさえ（公共施設はあるが）遊興施設がないので、他県に行く県外に出ていく人が多いと思う。テーマパークがほしい。
そもそも住めるところがないと思う。まず、公共住宅等何かしら住む家が必要。
企業（雇用）が少ないと思うので、子どもの教育に力を入れてアピールポイントにはどうかと思います。子どもにとってよい環境であれば、移住を考える親も少なくはないと思います。習い事に行くにしても車が必要で、そもそも何を習えるかが都会とは選択肢が極端に少ないですが、美波町独自のプログラムで学校全体のレベルを上げていき、「美波町に住むだけで（塾にもいっていないのに）学力が全国平均を大きく上回る」などのイメージが定着すれば徐々に子どもの数も増えていき、Uターンも見込めるのではないのでしょうか。皆が日本語を話せるように、英語も毎日全員で練習できる環境があれば、みんな得意になれるはず。子どもの無限の力に期待を込めて。
定着してもらうためにどうすればいいかを住民が本気で考え、町としてまとめ、行動することが重要。
使われていない民家や土地の買い取りや管理、また紹介する制度の充実を進めてほしい。
町の方から「移住組」という言葉を耳にすることがある。移住した方が地域に根付くように支援できているか不安。
移住するのに十分な受け皿を準備、整えておく。
移住した人には、その後の人間関係も支援するべきだと感じる。
働く場があることが大切。若い人が移住してくれることが望ましい。
移住者と住民の揉め事が無いように対策し、充分に対応できる環境を。
大会社があるとか、農林水産業に魅力があるとか個人の移住が今後、発展し続けてできるよう、町や行政が手助けしてあげてほしい。
子育てが安心してできる町づくり。
空き家があっても、持ち主が貸さないため利用できない。住宅地などが増えることもないので人口も増加しないと思う。
移住によりお互いに意見交換のし合える住民と交流のとれるようになってほしい。
移住したら終わりではなく、美波町に来て本当によかったと思ってもらえるフォローが大事だと思う。

神山モデルのような「ワークインレジデンス」による誘致が重要です。計画的誘致による町づくりが地域の再生・活性化につながります。
体験できる機会を作る。移住しやすい環境作り。（移住者特典や優遇制度）
移住者が特定の人とだけのつき合いにならないように短期でなく、住みついていられるように。目新しいことだけでなく、古くから続いていることがよりよく続けられるように。
移住すれども定住してないので、定住するように取り組む政策を。
自然がたくさんあることは、よいことだと思いますが、日々の暮らしがしにくいので、そこを改善したら、もっと移住者が増えるのかなと思ったりしています。
各地で移住についての取組が行われていますが、美波町も魅力的な対策を検討してください。
移住を考えている方への宿泊体験、住環境を整える。
移住者が不幸にならないよう、住宅は津波の被害に遭わない所とか配慮する。
IT系の在宅でできる方を増やすのと、漁業関連の方に移住してもらい、これからの美波町の漁業を担う人材になってもらいたい。（漁師の年齢が高齢化し過ぎている）。
目に見える変化を移住される方に期待し過ぎず、ただ留まってみようかと思っている方も受け入れる体制が必要かと思う。空家の穴埋め要員に利用しているだけでないか。
地域住民との交流の機会を積極的に創出し、移住促進の仕組みを整えることが大切と思う。
移住促進の在り方について（37）
移住者には補助金を渡していると聞いたことがある。補助金を渡してまで移住者を募る必要はない。
移住促進して町に有益なことはなにか。内容が問われる時期にきている。
移住促進の取り組みにお金をかけすぎ。
各町内会に補助金を。10年後、20年後、日和佐しか残らない今のままでは。
移住促進も大切だが、定住や元々住んでいる人に対しても同じように取り組むを。若い人が出ていかにように雇用につながるようにしてほしい。（サテライトオフィスなど）
移住者が増えたからといって、美波町にとって、先住者にとってよくなったことって何ですか。移住者への補助金って先住者たちの税金からですか。町の活性化につながっているのでしょうか。
移住もいいですが、Vターンをもっと取り組むべきだと思います。
移住して恩恵を受けても、すぐに違う所へ行ってしまおう人が多いので、どうかと思う。
移住者と住民の間に不公平感がないように。
移住にこだわらず、関係人口（ネットワーク）を。
移住する人も大切だが、住民第一で取り組んでいてもらいたい。
取り組むべきではない。
移住促進のための補助金支出が問題だと思います。補助金を出さなくても移住してくれるような町づくりを目指してほしい。
地元の人を大切にしてほしい。
若い夫婦がリフォームを町のお金でもらっているけど、住民がリフォームしても1円も補助がないのは不公平です。地元で働く場がないので跡取りが出て行って、都会に住んでいる家はたくさんあります。大きな企業を誘致して、働く場を作って、地元の子が出ていかにようにしてほしいです。
門前町に店ができるのはいいが、美波町全体が潤っているようには思わない。風紀が乱れている感じもする。
入ってくる人もですが、出ないような取り組みの方が先。
移住してきていた人がまた出て行っているの、なかなか「住み続ける」点では上うまくいってないと感じていた。
移住したその後、住み続けてくれているのか等、取り組み後の成果も見たい。
多額の費用を負担し、人口を増やすより、現町民のためになることをしてほしい。
移住者ばかりを優遇するのではなく、元々美波町にいる人たちも大事にすべきだ。具体例として、状態のよい空き家を移住者に優先的に情報提供せず、家を借りたい、買いたい全ての人に等しく情報提供するか。美波町出身者と結婚し、町外から嫁いできた人だって移住者です。すべての移住者に等しく恩恵を。
旧日和佐町だけを推進するのではなく、美波町としては、由岐町も取り組んでほしい。
移住促進ばかりに気を取られすぎ。地元の人々一番でなければ、離れていく。

地元に戻りたくなるような場所になればよい。
移住者によって元の日和佐の良さを失われないように取り組みして欲しい。
住民はお金を支払ってまで移住してほしいと思っていません。そもそも町職員が子どもの教育のためとか言いながら、町外に家を建てて町を出て行ったり、町外から職員を採用しているのに、何故お金を使ってまで人を呼ぶんですか。自分たちがここに住みたくないのに。どんなに人をお金で呼んでも金の切れ目が縁の切れ目ですよ。そんなやり方でなく、この町の魅力を高めて周知してください。あと、何でもかんでも古民家、買いとらないでください。状態を見極めて進めて。
IT中心の移住者優遇が行き過ぎている。「地元民」へ暮らしやすい政策に力を注ぐべきだ。
移住促進するなら出身者が子育てしたいと思える環境整備してほしい。
移住者が優遇されている印象を持っている。元より美波町に住んでいる人は大事にされていない印象を持っている。
せっかく移住の人が来ても、地元の若い人が他で家を建てる話もよく聞きます。美波町の住民の人が住みたいという町にしてほしい。なぜか変な気がします。
日和佐地区だけでなく、由岐地区も町の活性化につながるよう名コンセプトをしっかりと設定した上での移住促進をしてほしい。
移住者だけでなく、元々いる地元の人がずっと住み続け、活動したくなるような支援も充実させてほしい。例えば、新しく来た人が45歳まで住宅や起業に支援策があるが、地元の人でも気軽に起業できる支援を拡充してほしい。45歳までよりも退職して60才から起業できるような、若い世代よりも財力や知恵、つながりのある年齢をもっと応援する施策が必要になってくると思う。今後は、60歳以上の退職後の元気な人をもっともといいきいきと活動できる町づくりが必要と思う。シニア世代こそが今後のカギになると思う。40代、50代は、まだまだ子育て中のため、その余裕が生まれない。シニア世代の活用が今後の美波町を背負っていくし、今までも背負ってきていると思う。
移住者について (21)
変な人もいるので治安の心配が伴う。
美波町のどういうところに魅力があって移住してくるのか、はっきりした理由がある人に移住してきてほしい。
都会的センスのある人に来てほしい。
人づきあいができる人をお願いします。
移住者を選ぶとき、若い人、若い世帯を選ぶ。生活基盤の充実が必要と思う。
若い世代の人に来てほしい。
どんな人が来るのか心配と不安が多々ある。
移住者をよく見極めて取り決めるようにしてほしい。
地域に密着する方がよい。
自分勝手に地域に迷惑をかける人は、来てほしくない。
移住してきても近所のコミュニケーションがとれていない方々がいる。
治安の悪化が心配。
昔から美波町に住んでいる人と仲良くできる人でないと移住してほしくない。
人間関係が難しい。
若い人に移住してもらい、子どもをもっと増やしてほしい。
自立した、目標のある人に来てほしい。
定住につながるならよいと思います。変な人（お金目当ての人）は来ないでほしい。
定住を望みますが、何か都合が悪くなれば転出しやすい。そんなことが気になります。
移住してすぐ出ていく人ではなく、住み続けて馴染もうとしてくれている人に来てほしいので、誰でも来ていいという募集の仕方はいまいちだと思う。
広報・情報発信 (8)
海、山をもっとアピールする。子育てにやさしいところ。
単なる都会からのUターン、都会生活に疲れ、地方は住みやすいという安易な移住の方は遠慮いただけるよう正確な情報発信をすべき。
移住者に対してのいろいろなサービスがあることをまとめて知らせてほしい。

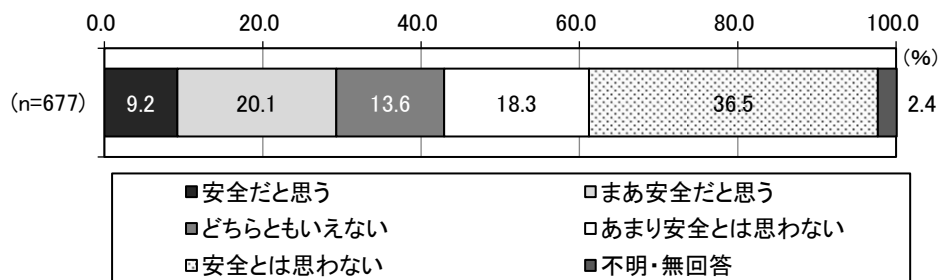
もっと美波町のアピールをして、空き家がたくさんあるので、オンラインを推してでも美波町に定住してもらえるように、力を出してもらいたい。
美波町のことをアピールすることをもっとすればよい。
都会にポスターなどのPRを増やすべき。
防災に力を入れている自治体なので、他地域よりも防災活動等をPRして安全に暮らしてもらえるように、宣伝を促進させる。
特になし(5)
その他(36)
津波のことがあるので、来ないのでは。
近くに移住された方と親しくなれず、今までゆったりと心地良かったのに、何かとざわついて、気がゆったりできないと聞かされました。
人口が増え、若い人たちが多くなると町が活性化する。
移住希望者をおためし期間をもうけて体験し、感想を書いてもらい次の機会にいかす。(夏休みには家族単位で実施する)
昔から住んでいる人が住みやすいと思える町になれば他の町からも移住してくる人がふえる。
都会から美波町に移住して来る人、また、現在ウクライナから逃げて来た人、内戦地、戦争地、その他諸々の事情で日本に来た人をあたたかく受け入れてあげたいと思う。
早く移住してもらわないと空き地で町がスカスカになる。
豊かな自然を活かした観光業を盛んにできれば、休日のレジャー目的の移住者が増えると思う。
持続可能な移住促進を行う。
人口が増えれば、店も増え、交通の便もよくなるかもしれない。仕事の面でも。
るさと納税返戻品に、体験型の返戻品を考慮してみる。クラウドファンディングを行ってみる。幅広い世代へ美波町ホームページにすぐにとべるようなツイッターアカウントの作成、美波町の公共事業が一覧でわかるスマートフォン向けアプリの開発、公式ユーチューブの設立。広報に空き家情報を地図付きで入れる。音声メディアチャンネルの設立。
どれだけの補助金が使われているのか知りたい。
私が子どもの頃、美波町(当時は日和佐)は桜町商店街の賑わいなど商業が盛んで、日和佐町は豊かな町とされていた。今その面影は薄くなったが、やはり人口の流出が大きいと思われる。町外、県外からの移住促進はもちろんですが、外国人の移住促進も進めてほしい。
多様な人が移り住み、町が活性化するから賛成。
飲食店みたいなものばかりのような印象がある。
空き土地を利用して、町外からの観光ができるように行政も努力するべき。
移住も重要だが、定住施策も積極的に取り組むべき。住み続けたくても定住をあきらめて転出する人もいる。また、役場職員に対する移住・定住施策も行うべき。役場職員の定住率が低いのに「移住促進に取り組んでいる」と言っても説得力に欠けている。災害対応にも影響すると思う。
住みやすさなどを充実させることは重要だが、ITなどの事業勧誘やインターネットなどの強化をし、都会にない田舎ならではのよさを活かしつつ、IT+田舎という新たな魅力を生んでほしい。
コロナが落ち着いたら移住してくれた人と前から住んでいる人が交流しやすくなるよう支援してほしい。コロナで都会から地方に住みたい人は増えるのではないかなと思う。
移住促進はよいのですが重要度がわからない。
美波町の人口が増えることは活性化につながるから。
20から30代の意向がまちづくりに反映されるようになってほしい。
ウクライナの方の受け入れも考えてあげてほしい。
移住でのメリットを多く、魅力を多く作る事が大切だと思う。

あなたの生活や地域のことについておうかがいします

問 24 あなたの生活や地域のことについて、さまざまな角度からおたずねします。この1年くらいのことを振り返ってみてお答えください。(1つに○)

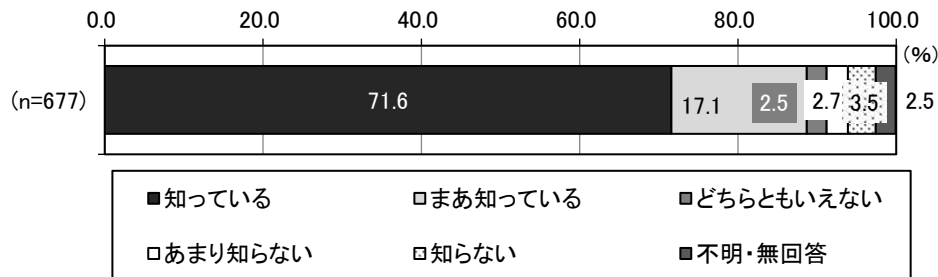
1) 災害に対して住んでいる地域は安全だと思いますか。

災害に対して住んでいる地域は安全だと思うかについてみると、「安全とは思わない」が36.5%と最も高く、次いで「まあ安全だと思う」が20.1%、「あまり安全とは思わない」が18.3%となっています。



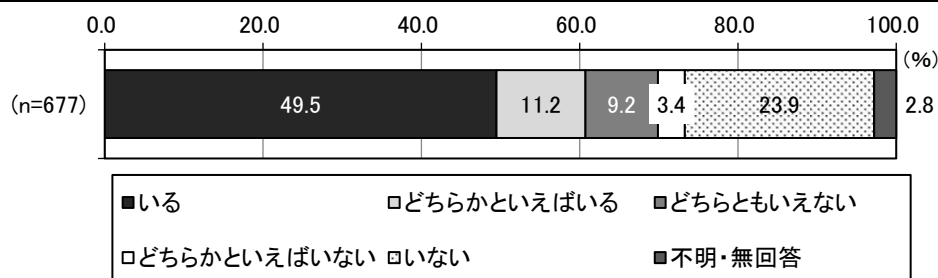
2) 災害時の避難場所を知っていますか。

災害時の避難場所を知っているかについてみると、「知っている」が71.6%と最も高く、次いで「まあ知っている」が17.1%、「知らない」が3.5%となっています。



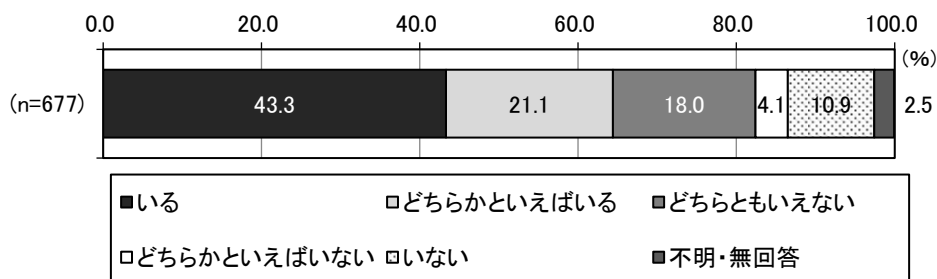
3) かかりつけの医者はいますか。

かかりつけの医者の有無についてみると、「いる」が49.5%と最も高く、次いで「いない」が23.9%、「どちらかといえばいる」が11.2%となっています。



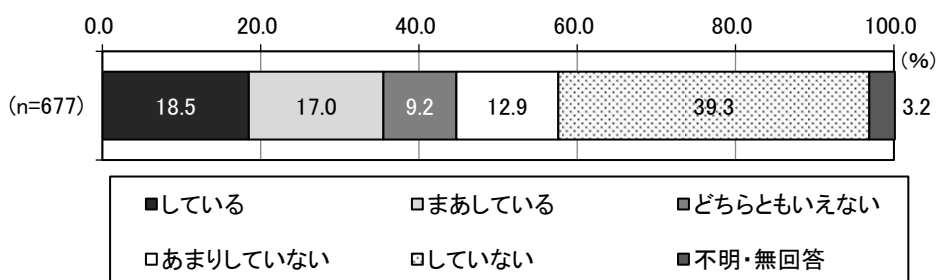
4) 頼りになる知り合いが近所にいますか。

頼りになる知り合いが近所にいるかについてみると、「いる」が43.3%と最も高く、次いで「どちらかといえばいる」が21.1%、「どちらともいえない」が18.0%となっています。



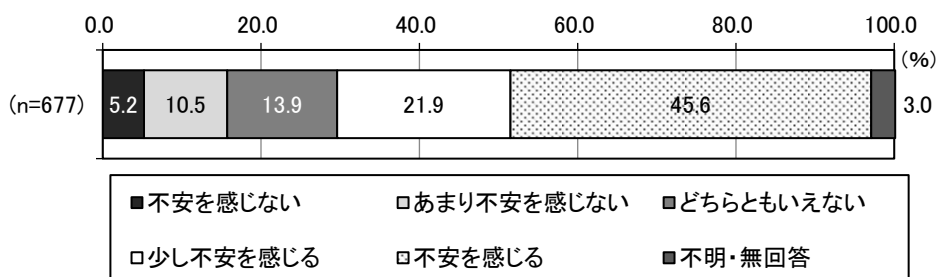
5) 地域活動やボランティア活動をしていますか。

地域活動やボランティア活動をしているかについてみると、「していない」が39.3%と最も高く、次いで「している」が18.5%、「まあしている」が17.0%となっています。



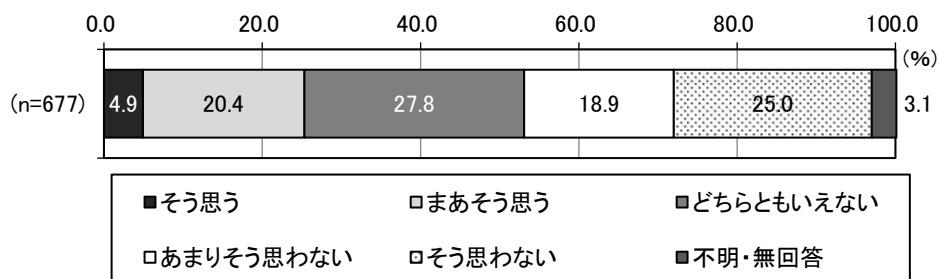
6) 老後に不安を感じますか。

老後に不安を感じるかについてみると、「不安を感じる」が45.6%と最も高く、次いで「少し不安を感じる」が21.9%、「どちらともいえない」が%となっています。



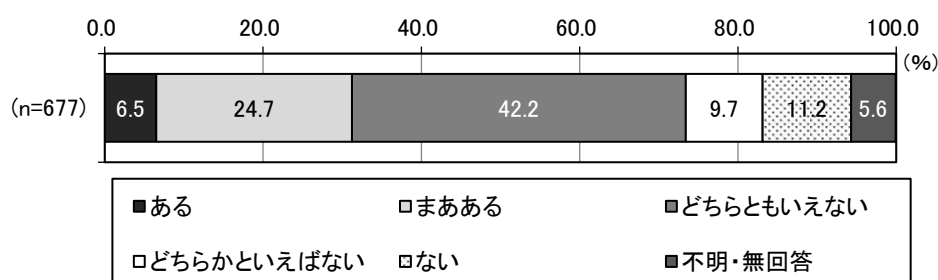
7) 住んでいる地域は高齢者や障がい者にも暮らしやすいと思いますか。

住んでいる地域は高齢者や障がい者にも暮らしやすいと思うかについてみると、「どちらともいえない」が27.8%と最も高く、次いで「そう思わない」が25.0%、「まあそう思う」が20.4%となっています。



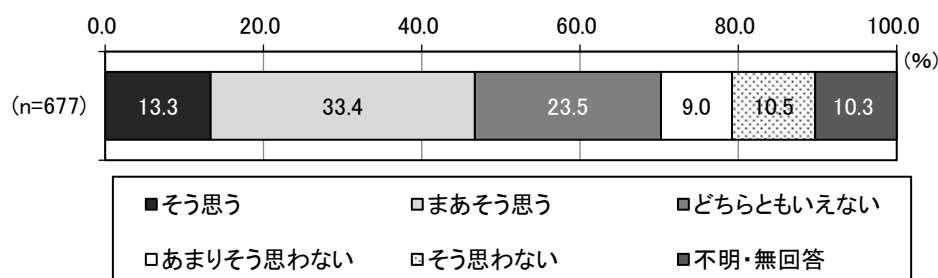
8) 子育てについて地域で支え合う雰囲気がありますか。

子育てについて地域で支え合う雰囲気があるかについてみると、「どちらともいえない」が42.2%と最も高く、次いで「まあある」が24.7%、「ない」が11.2%となっています。



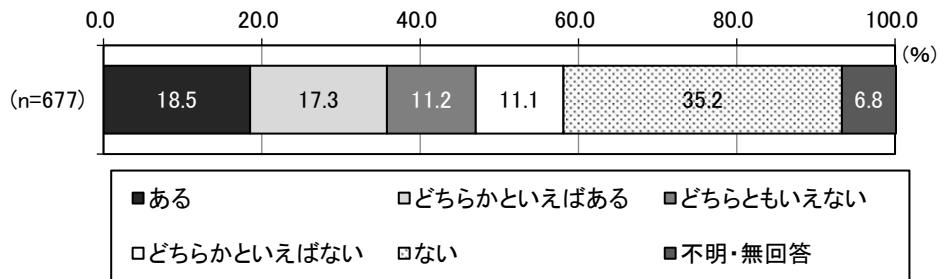
9) 仕事と自分の生活の両立ができていると思いますか。

仕事と自分の生活の両立ができていると思うかについてみると、「まあそう思う」が33.4%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が23.5%、「そう思う」が13.3%となっています。



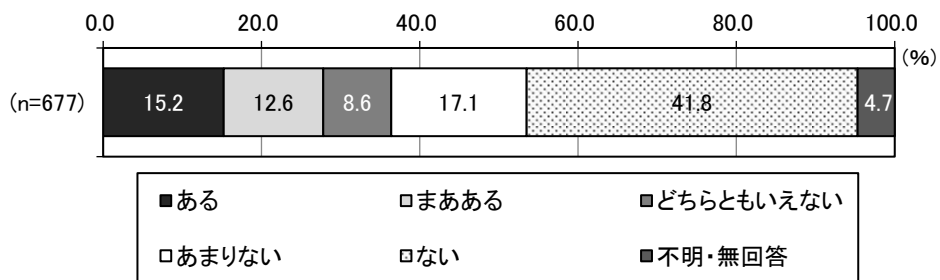
10) 目的をもって学んでいるものがありますか。(学生の方は学校以外で。)

目的をもって学んでいるものがあるかについてみると、「ない」が35.2%と最も高く、次いで「ある」が18.5%、「どちらかといえばある」が17.3%となっています。



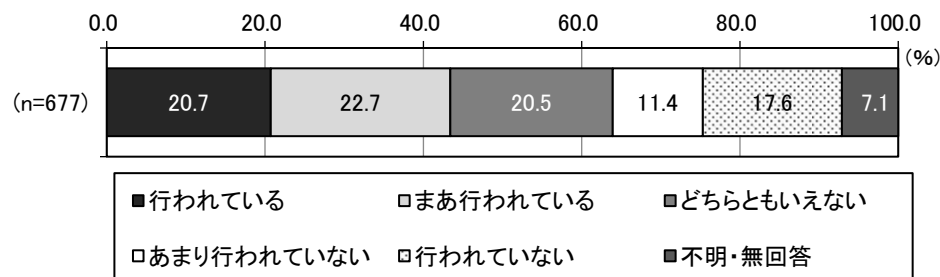
11) この1年の間に、芸術に触れて感動したことがありますか。

この1年の間に、芸術に触れて感動したことがあるかについてみると、「ない」が41.8%と最も高く、次いで「ある」が15.2%、「あまりない」が17.1%となっています。



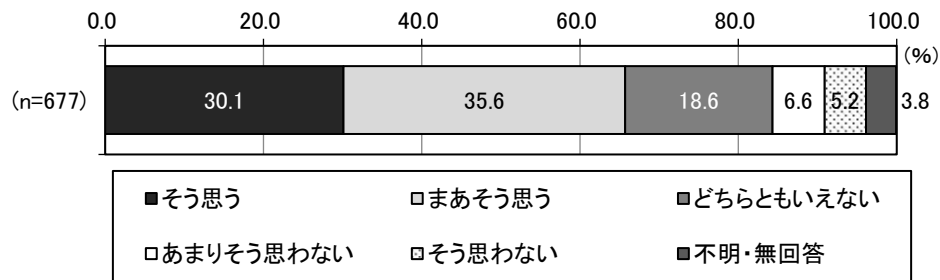
12) 住んでいる地域で登下校時の見守り・パトロールや街灯整備等の安全・安心を守る取り組みが行われていますか。

住んでいる地域で安全・安心を守る取り組みが行われているかについてみると、「まあ行われている」が22.7%と最も高く、次いで「行われている」が20.7%、「どちらともいえない」が20.5%となっています。



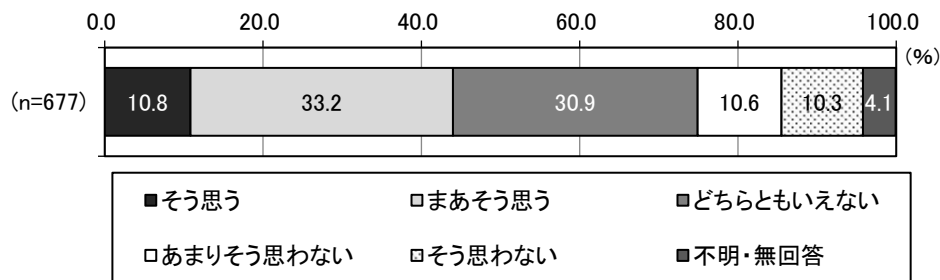
13) 森・海を守るための取り組みに協力したいと思いますか。

森・海を守るための取り組みに協力したいと思うかについてみると、「まあそう思う」が35.6%と最も高く、次いで「そう思う」が30.1%、「どちらともいえない」が18.6%となっています。



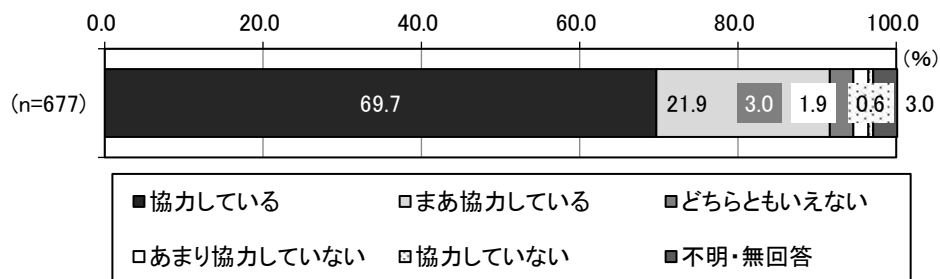
14) 住んでいる地域の自然環境は守られていると思いますか。

住んでいる地域の自然環境は守られていると思うかについてみると、「まあそう思う」が33.2%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が30.9%、「そう思う」が10.8%となっています。



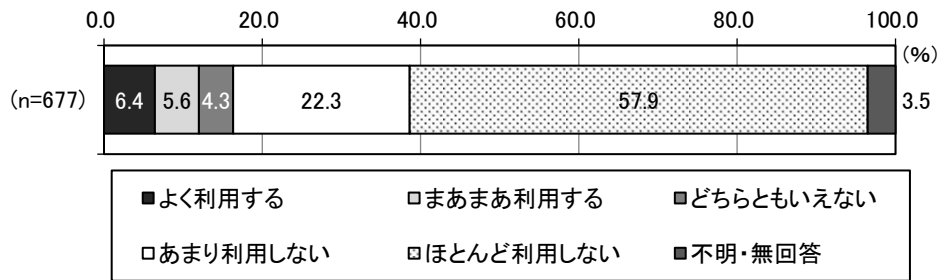
15) ごみの分別やリサイクルに協力していますか。

ごみの分別やリサイクルに協力しているかについてみると、「協力している」が69.7%と最も高く、次いで「まあ協力している」が21.9%、「どちらともいえない」が3.0%となっています。(「不明・無回答」を除く)



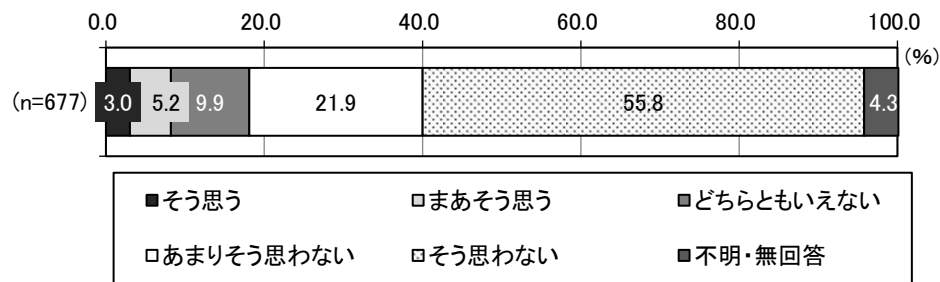
16) 普段は、できるだけ公共の交通機関を利用していますか。

普段できるだけ公共の交通機関を利用しているかについてみると、「ほとんど利用しない」が57.9%と最も高く、次いで「あまり利用しない」が22.3%、「よく利用する」が6.4%となっています。



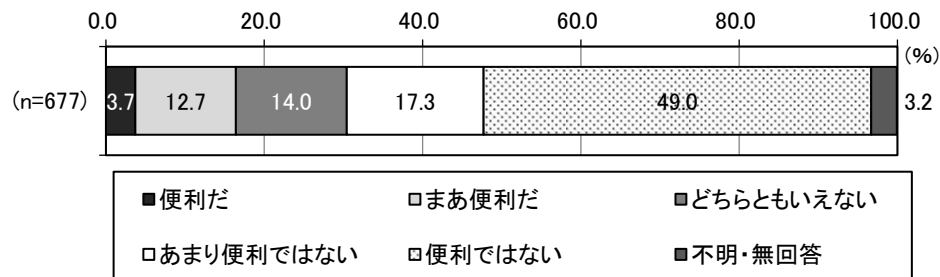
17) 住んでいる地域の公共交通は便利だと思いますか。

住んでいる地域の公共交通は便利だと思うかについてみると、「そう思わない」が55.8%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が21.9%、「どちらともいえない」が9.9%となっています。



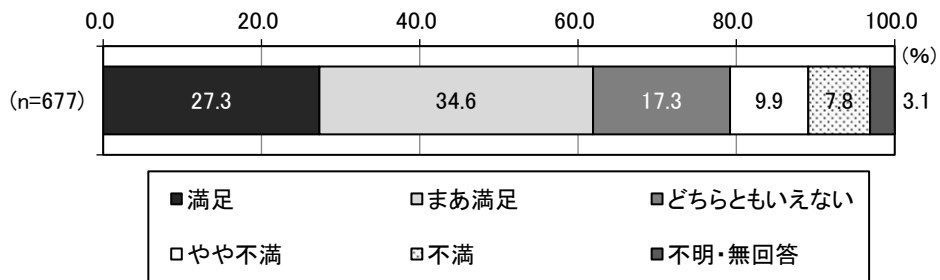
18) 住んでいる地域は買い物や通院に便利ですか。

住んでいる地域が買い物や通院に便利かについてみると、「便利ではない」が40.0%と最も高く、次いで「あまり便利ではない」が17.3%、「どちらともいえない」が14.0%となっています。



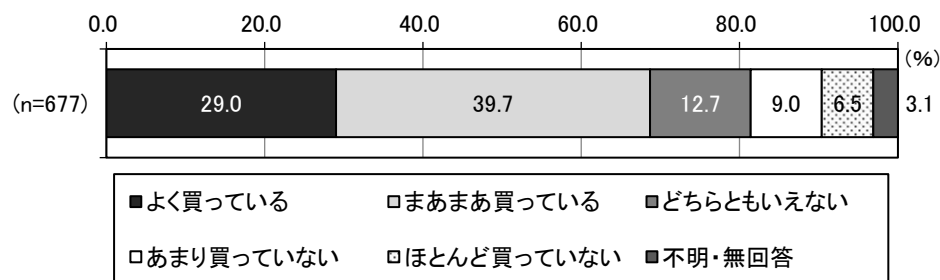
19) 住んでいる家に満足していますか。

住んでいる家に満足しているかについてみると、「まあ満足」が 34.6%と最も高く、次いで「満足」が 27.3%、「どちらともいえない」が 17.3%となっています。



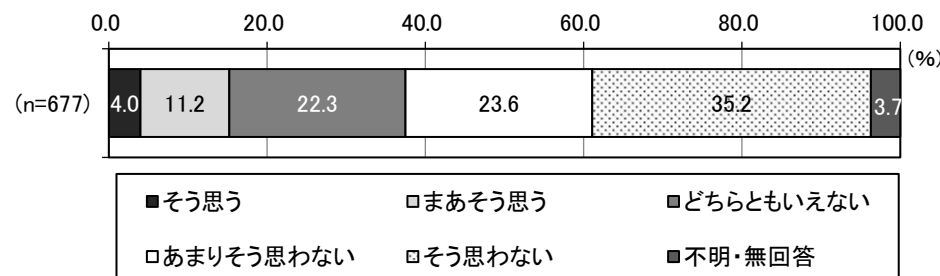
20) 地元や県内でとれた農・水産物を買っていますか。

地元や県内でとれた農・水産物を買っているかについてみると、「まあまあ買っている」が 39.7%と最も高く、次いで「よく買っている」が 29.0%、「どちらともいえない」が 12.7%となっています。



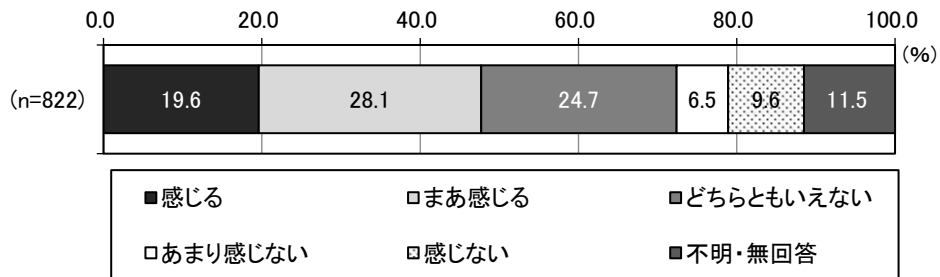
21) 住んでいる地域に観光などの訪問客が増えていると思いますか。

住んでいる地域に観光などの訪問客が増えていると思うかについてみると、「そう思わない」が 35.2%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が 23.6%、「どちらともいえない」が 22.3%となっています。



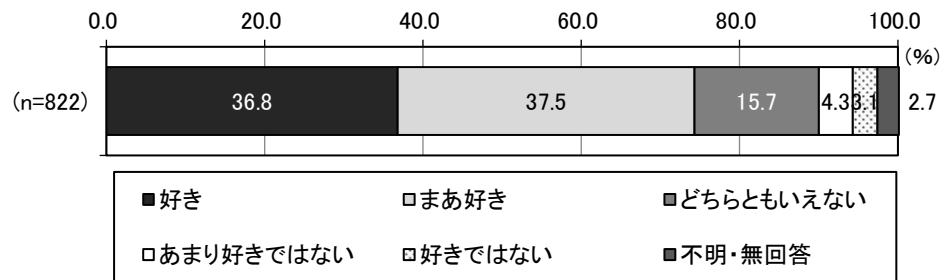
22) 自分のしごとにやりがいを感じますか。

しごとにやりがいを感じるかについてみると、「まあ感じる」が28.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が24.7%、「感じる」が19.6%となっています。



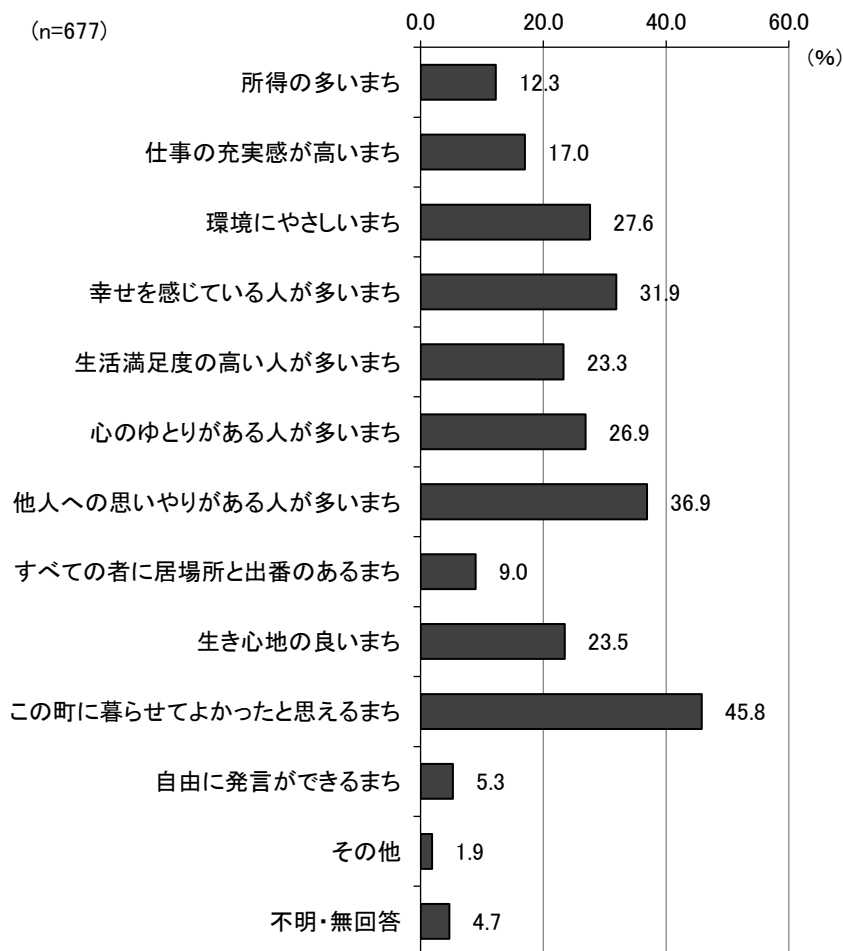
23) 美波町のことは好きですか。

美波町のことは好きかについてみると、「まあ好き」が37.5%と最も高く、次いで「好き」が36.8%、「どちらともいえない」が15.7%となっています。



問 25 美波町における生活は、どのような姿が望ましいと思いますか。(3つまで○)

美波町における生活は、どのような姿が望ましいと思うかについてみると、「この町に暮らせてよかったと思えるまち」が45.8%と最も高く、次いで「他人への思いやりがある人が多いまち」が36.9%、「幸せを感じている人が多いまち」が31.9%となっています。



「その他」回答 (一部抜粋)
安全に住めるまち
今のままがいい
人口増加が望めるまち
安心して暮らせるまち
老後が安心して暮らせるまち
住みやすいまち (生活に必要なアクセスと楽しみがある)
働ける場所があるまち
子どもにやさしいまち

問 26 新型コロナウイルス感染症の影響について、困っていることや今後、困る可能性がありそうなことなどがあればお書きください。

一部抜粋

ストレス（自粛。コミュニケーション不足等）について（40）
高齢者施設に入居している家族と自由に会うことができない。冠婚葬祭時に呼びたい人が呼べない。交友関係が希薄になった（気楽に会えないため）。外出があまりできないため、ストレスがたまる。
県外の家族と行き来ができないこと。入院、老人施設の方々に会えないこと。自分の暮らし以外の飲食業、観光業、子どもたちの生活の大変さなどを思うと気持ちがたふらなくなります。マスクも嫌です。
子どもが東京、大阪、熊本にいたので帰省しにくくて、いつ帰れるかと心淋しい思いがあります。
コミュニケーション不足で家で孤独になっている人が増加する不安がある。
子どもをつれて出かける場所が減った。気をつかう。（コロナなのに遊びに行っているなど言う人がいる）
老人施設に入所している友人に会うことができない。
孫が車で通学しているのでコロナの感染に気をつけていますが心配です。
他県への移動や県外の人との交流などが自由にできないこと。
生活リズムが変化し、心のゆとりを感じる事が制限されているので、精神的にしんどく感じる事が多い。
人との交流の場が確実に減っている。
今は、高齢者を家に閉じ込めている状態です。精神的にも肉体的にも低下する一方です。早く集いや会食でワイワイと楽しめる日々になってほしいと思っております。
すべての活動が自粛となっていること。
阿南以北に行く時、少し怖い。
外出への不安はあるが、買物に行かないと困るし、町内では品物が揃わない。
外に食事や観光に出かけることが少なくなり、精神的なストレスの解消や生活の楽しみなどを他に見つけることが難しい。家にいても充実した生活がしたい。
老人会活動がストップして、家の中ばかり。何とか少しずつでも活動できることを願う。
マスクのある生活が続いており、マスクがない顔がわからない人が増えています。まだまだマスクのない生活は考えられませんが、わからないようになり、混乱しそうに思います。
コロナがいつになったら終息するのかわからないことが不安。
活動範囲が限られたため、運動不足による体調不良。趣味に対する気力の低下があり、今後も心配。
コロナで外出できず家でテレビ見るばかりで会話できず認知症にならないか心配。
イベントなどの中止などで人との交流が減り、家に閉じこもり気持ちが落ち込み、健康面にも影響が出てくるのが心配。入院中の面会制限でコロナの感染は防いでも精神的に症状回復に影響がでそう。
県外往来できない。子どもが帰ってこれない。診療してもらえない（医師不在）。
安心して生活し仕事を続けていけるか不安を感じる。
旅行等、年に2、3回以前は行っていただけ、周囲の目もあり、難しくなった。
県外への移動、旅行がしづらくなっている。マスクを外せる日常が戻ってくるのか不安。治療薬が美波町に十分な数量が供給されず、困りそうな予感。
病院や介護施設等での面会や見舞いに制限があること。
飲食店に行けなくて辛いです。
コロナで人が家にこもりがちです。早くイベント等ができ、人が集まる場所ができますように。
子育てや仕事、日常が戻るのが待ち遠しいが、今も今後も、少し灰色のような見通ししか持てないのが辛く思います。
人との付き合いや接触を制限していることにより、普段の生活に充実感がない。ローカルコミュニケーションの衰退。
人との交流ができない。気を遣う。
感染時の対応について（25）
感染者を特定し噂を流す。一人暮らしの方が感染すると助けるのが遅くなる。
感染すると外へ出られないため食料に困る。

家族全員が感染した際の食糧などの確保、配達サービスがあってほしい。移住してきたが、帰省（県外）の自粛が続いている。
自分や家族が感染した時にうまく対応できるか不安です。
新型コロナウイルスに感染してなくても濃厚接触者になれば、何日間も自粛をしなければいけないのは大変です。仕事できないのは困ります。
職場ではコロナ陽性者が出ると濃厚接触者になり休む人が出るので人員不足になり、忙しくなる。
感染症に罹患すれば困ると思う。
コロナで自宅療養になった時に、物資でレトルトのものはあるが、三食レトルトばかりも食べれないため、野菜や魚、肉なども届けてくれたらと思った。濃厚接触者も待機できる施設などがあれば便利だと思った。コロナで学校が休校となった時に子どもの預りの場があるとよいと思う。
人口が少ないので、感染者の特定がされやすい。
一人暮らしなので、自宅待機の食糧等の調達。住民の差別的な目。感染も恐いが田舎では特に怖い。
高校で感染者が出ると、自分が感染したように噂されるのをどうかしてください。
陽性者になった場合、狭い町なので、特定される。
職場で陽性者が出た場合の対応が大変。
今では誰でも感染すると思っているが、自分や家族がなったらどの程度の症状か、怖い。風評被害。
感染後の後遺症や風評被害。
感染者が誰なのか特定しようとする人が多いこと。
小さい町なので、家族や自分が感染した時の周囲の反応が不安。
持病があるので感染すると困る。
家族や従業員に感染すれば、営業停止になり、どのように暮らしていけばいいのか、わからない。
行政への要望について（20）
町内放送でイベントなどの案内をしているが、密を避けなければならないはず。人集めは違うと思う。
美波町のことをもっとくわしく知らせてほしい。
コロナでの入院、退院に対して間違った情報が伝わっていた。高齢者にも正しい情報が伝わるように地域別に勉強会ができればよい。
給付金があればいい。世帯ではなく一人一人に届く。
自分のほうではできるだけルールは守っているけれど、いつどこで感染するかが心配。他の地区からの出入りはなるべく注意してください。
新型コロナウイルスで生活が困っている人には支援を続けてほしい。
常に最新の情報を発信してほしい。
公共の場では、コロナ感染対策はきちんとできていますが、地域での話し合いの場や祭りでの飲食においては全くと言っていいほど、なされていません。自治体においても、それぞれの地域に感染対策の徹底を指導するようなシステムがあればいいと思います。
病院に勤めていますが、マスクは自分で買わねばならず、結構、出費がかさみます。以前のように、2万円の金券をもらえたらうれしいです。
今だに間違った知識を持っている人への勉強会があればいい。
コロナ禍後期の主題は「高齢者等、リスクの高い人達を守る」だったと思いますが、それによって発生した若年者（特に学生）への損失はとてつもなく大きいと感じます。この点への支援や施策は積極的に行うべきと思います。
コロナが落ち着いたら、県外の人がたくさん来れるようにネットなどで発信してほしい。
徳島県のホームページに美波町〇人と発表されるが、具体的に美波町、日和佐地区、由岐地区くらいまでは、わかるようにしてほしい。家族が高齢のため、できることは、家族内で取り組みをしたい。
町としての情報があまりない。
宿泊事業者、施設や飲食店の利用減少によるにぎわいの縮小に、ただ補助金だすのもいいが、にぎわいを拡大するための施策、誘客策も必要。
コロナに感染した時にどうしたらよいかの対応を記載したものを公民官報などに掲載してほしい。
このアンケートは集計報告をするのか、これまでのアンケートはなかった残念である。アンケートもいいが政策推進課は実際に町民の声に耳を傾けること、地域に出て地域を知ることから町外から来ている職員は特に必要。

美波町でも爆発的に感染拡大が発生した場合、どのような対策が行なわれるのか、全く見えてこない。具体的に何を行っているのでしょうか。医療は本当に大丈夫なのでしょう。
店への支援があるが、どの店も支援してもらえるとありがたい。
収入の減少、経済的な不安について（17）
コロナウイルスの影響で私たち夫婦は1ヶ月70,000円で生活しています。子どもたちもコロナで仕事が休みで給料が少なくなりました。生活するのがしんどくなり、苦しいです。
エビ、アワビなど高級食材の単価が低下し、漁業者は収入が減少し生活が苦しくなる。
仕事を休まなければいけない日が多く収入が減った。
観光サービス業などの客足が戻るのか。（お遍路なども）
倒産している会社も多く見られる。仕事の充実、収入の安定を早く実現してほしい限りです。
夫婦して働けなくなった時、生活していけるのか、経済的に二人で施設に入れません。生きてくても生きることができなくなるのではないかと。
町の観光や飲食業の方々の仕事、収入の減少。町内での働き手の減少。
コロナの影響で仕事がなくなるかもしれない。
地域経済の衰退。
町内の飲食店がつぶれる。
仕事が少なく、生活費に困っている。
感染リスクはわかるが、経済が止まっている。社会的リスクが大きい。
ワクチン接種について（12）
ひとり暮らしなので何事においても不自由です。コロナ注射3回目の時熱が出て大変困りました。自分の本当の体に戻るまで1週間かかりました。心細かったです。
ワクチンの副反応がきつく、後何回打てばいいのかわからないこと。
4回目ワクチンがあれば、接種券なしの接種がしたい。
徳島市など美波町より大きな町に比べて若年層のワクチン3回目接種が遅れていると感じました。お年寄が多いのが理由だと思いますが、町外で活動することが圧倒的に多い若年層をもう少し優遇してもよかったのではないかと思います。
4回目の接種が決まれば、早く接種券を届けてください。
子どものワクチン接種者と未接種者の意見の違い。
ワクチンを打つことへの同調圧力が働くことが困る。
ワクチン接種の回数。続けていくことになるのか。打たなくてもよいのか。考えさせられる。
コロナワクチンの連続適否について国（政府）の言う通りに従うことに不安がある。
高齢者なのでワクチン注射など優先的にしてくれるので不安はない。
ワクチン接種で予防ができるのであればインフルエンザと近い対策がよいのでは。
イベント、行事の中止について（10）
地域行事の縮小・中止による子どもたちや住民の楽しみがなくなると町への愛着の育成が難しくなるかもしれない。
地域でのイベント、祭りができなくなることで、人の交流の機会が減ること。美波町の店が閉店にならないか心配。
地域コミュニティの衰退（イベント、行事、祭りが中止）集まりにくいことにならないか。
多人数で集まって何かをすることができない。サークル活動も限界がある。
さまざまな地域行事がコロナで中止になり、行事がないことに慣れてきている。地域行事は面倒でもあるが、地域の絆を高める力もあり、これこそが美波町の魅力だと思う。ウィズコロナ、アフターコロナになった時、地域行事が再開できないのではと心配する。
地域の活動や伝統行事が中止になり、住民の気持ちに張りがなくなりつつある。
人との交流がへった。秋祭りを開催してほしい。
子どもへの影響について（8）
感染拡大により、学校が休校になること。子どものワクチン接種をどうしていくか。
感染症対策により生活経験が制限されている子どもたちは、今後の育ちへの影響がどうなるのか心配。地域の行事も安全に再開できることを心から願っています。
休校や休園時対応が遅い。マチコミをうまく活用できていない気がする。

祭りや運動会はじめ、子育て支援（ももほっぺ）が中止となり、子どもが刺激を受ける場所が減っていて残念。以前と同じようには無理だとしても、工夫してできればいいと思う。
学生生活や行事、クラブ活動や部活動が縮小、中止、延期され、子どもたちが楽しんだり、思い出を作ったり、体を鍛える機会が減ってしまっている。
子どもたちの教育活動の制限など、子どもたちの心身の成長面への影響。
小さな子どもたちのマスク着用は、コミュニケーションの取りにくさなど、弊害が多く、マスク着用が本当に必要なのか疑問がある。保、幼、小、中、高のマスクは、外すような世の中になってほしい。発達に多大な影響を及ぼしてまで、マスクが必要なのかと思う。
医療・福祉について（8）
医療機関の充実。
高齢者が多いので、感染が広がると地域医療がひっ迫するのが心配です。
現在、ヘルパー、訪問看護さんの利用していますが、今後新型コロナウイルス感染拡大で中止されたら困ってしまいます。
診療所、病院が発熱者のPCR検査を。発熱時に断られたため、海部病院に行った。
地域（地元）の医療体制。
コロナにかかっている人が救急車で運ばれたけど、受け入れてくれる病院が見つからなかったことがあったため、今後、またこのようなことがありそう。
独居の方の生活（退院後の）が困らないように見守りのサービスが必要だと思う。
特になし（7）
その他（24）
高齢者が多いのでコロナ禍でも楽しく生きられるのか。
PCR検査が簡単にできるように。
いろいろなことの義務化や強制がされないように。
高齢者が死ぬ恐れがある。高齢者にマスクをつけていない人がいる。
ワクチン接種の必要性。中国由来のコロナウイルスが再拡大、悪性化する事の懸念。コロナショックによる経済の悪化、物価上昇、また失業、倒産による人口減少など。
コロナに対して敏感に感じ過ぎていると思う。
マスクをしていない人が多い。小学生も含め、コロナの感染対策に努めてほしい。
マスクをすることなどが、浸透し過ぎて、マスクをしていない団体を見ると、悪い集団に見えてしまうこと。特にオートバイの団体、バスから降りてきた団体が県外ナンバーだったら、なおさらです。
これほど長くコロナが影響するとは思いませんでした。まだ先行どうなるかもわからない。罹るとお医者様方にお世話になる以上、今後地方でも万全の防止対策を町全体がいつも考えて生活する。
このアンケートで「この1年間」を振り返り、芸術に感動するや観光客は少ないのかな、活動や活動範囲が狭くなったなど思った。家族で県外で就職活動をしており、時々県内に帰ると言っているが、私の職場は県外から来た人との接触後2週間出勤ができなくなるのでどうしたものかと思っている。
かなりしっかりと対策されているので今後も推進していく。
抗原検査やPCR検査はいつ、どこで受けるのが今もわからない。感染者の発表でほとんどの人が無症状。この無症状の人は、なぜ検査に至ったんだろうか。濃厚接触の判断はどの時点ですればいいのか。誰が陽性と判断されたかを接触者として自覚できるのか。
困ることを乗り越えて、このコロナの生活に慣れてしまった。
コロナの後遺症が心配。新薬など安心できる方法があれば、わかりやすくしてほしい。
感染症対策（マスク着用、アルコール設置等）の流行が下火になった時に、店舗ごとに対応が違ったりすると困る。現行のソーシャルディスタンスが心地よく習慣化しているので、以前の密さが戻ると、日常生活全般にストレスが生じて揉ごとが増えそう。
何もかもが「コロナだから」と理由になってしまうこと。
今、書いている間にもテレビで変異株がどこか外国で発症と耳にしました。今度こそと思いながら、スポーツもマスクをしながらやっています。夏に向かうのに、熱中症になりかねない、早く落ち着いたしてもらいたい。町、県、国の出費にとっても心配しています。

美波町のまちづくりに関してご意見がありましたら、自由にご記入ください。

一部抜粋

行政への意見等について（41）
町民にとって本当に必要なことなのか、メリットのあるまちづくりをしてくれれば意見はない。しっかり考えた上で取り組んでいただきたい。
一般人はボランティアで参加しているのに役場職員は手当あり。不参加の人は、町外の職員が多い。職員であれば町をよくするためには全部同じでなければならないと思う。
公民館（町内の）維持費は年により補助金が出ないのはおかしいと思う。
広報で初めて知ることもあるので、小さなことでも記事にしてほしい。
役場では時々公民館報や町内放送で「野良猫に餌をやらないように」と言われていますが、徳島市（桜猫（地域猫）として耳を少し切って桜の花びらみたいにして地域で世話している）や海陽町のよう犬や猫に優しい町にしてほしいです。去勢、避妊手術などもう少し安い費用で受けられるか野良猫などは町のほうで考えてほしいです。「餌をやらないように」の町内放送で胸が苦しいです。
あれもこれもと考えず、住民が希望することを集約して一年に一点ずつくらい成し遂げればいいのでは。船頭多くして船山に上るのたぐい。
新型コロナウイルスの影響での収入減少時、国の持続化給付金は働き方（確定申告時の所得区分）により対象外で不安でしたが、町の対策に助けていただき本当に感謝しています。人口が少ないからこそ、町民の健康や生活を守るためにひとりひとりを見てくださっていて、心強く感じています。
町づくりの取り組みがあまり伝わってこない。
町住民税が高い。役場職員の出勤時間ギリギリの人がいる。職員の人数を減らして、町長自ら現実をみてください。美波町まちづくりをする前に役場の人づくりをしてください。
地元の人を中心に考えてほしい。
美波町の人口が少なくなっているのに町議が多すぎる。少なくして下さい。町議は月給にせず、日当にするべき。町長ももっと力を出して、机の前に居らず、もっと動いてください。
もっと町のアピールに SNS を使ってしたらよいと思う。
景観のいい場所にウォーキングコースを造って、町民の健康、観光に利用する。町内放送の内容更新時間と一緒に掲載したら便利だと思う。
行政が地域の声を聞いて行動がとれているのか疑問。また町民が意見を出しているのかもわからない。地域活性には働く場づくりが重要だと考えます。適切な仕事ができているか、無理、無駄、ムラが多くないでしょうか。
若者（10～30代）の意見が聞かれるような町にしてほしい。頑張っている人だけが損をすることのない町になってほしい。
身の丈に合った施策をしてほしい。財政破綻しないように。
町内放送が聞きとりやすく、自宅の放送機器も全然聞こえず、周知事項を聞き逃している。全戸の機器がどうなのか、わからないが、再度調査して下さい。
日和佐地区ばかり発展・活性・利便性（行政的な）している。
保健、社会教育等。美波町の施設の運営等を点検しては。行政改革をもう一度、考えてみては。
広大な土地等が確保できれば、もっといろいろな考えが出てくると思う。
役場や公民館、観光案内所などに意見箱を置いてみてはどうでしょうか。町民だけではなく、観光に来た方などにも意見を聞いてみるのもいいかと思えます。または、町民が話をできる所などがあればいいと思います。場所や人がいないなら役場の職員がするしかないと思います。
町民の意見等を素直に聞いてほしい。障害者、高齢者等にやさしいまちづくり。国、県に対して強く要望して欲しい。道路等の草抜き等。継ぎはぎだらけのアスファルト等。
一部地域に集中しない、公平な予算の分配を心がけてください。
たかだか 2,000 人のアンケート調査やパブコメなどで町の最上位計画である総合計画を策定しないでほしい。町長や担当課は町内の各地区に出向いて懇談会を開催し、町民の意見を丁寧に集めてほしい。今の美波町は総合計画だけでなく、計画策定を外注することに慣れ切ってしまい、アリバイづくりのような懇談会や短期間のパブコメを実施し、町職員が町民と協働することを諦めてしまっている。どうかこの体質から脱却してほしい。

循環型社会などの言葉をもっと少しわかりやすい言葉にすればよいと思います。
地域振興券すごく助かりました。
役場職員に町外在住者が多すぎるのも気になる。災害時にその人たちは来ることができるのだろうか。人材ももっとよく判断してから採用してもらいたい。
まちづくりをしている側の人たちはこの町の魅力を知っていますか。いろんな所から採用されているようですが、町中で見たことないです。まちづくりの前に採用した人にじっくり町を知ってもらうための研修をしてください。遅刻、残業（本当に必要ですか）、上から目線の対応。社会人としての自覚をしっかりとち、まちづくりをしてください。真面目にしている人たちには感謝しています。高台移転や町に2つの医療機関。お金を湯水のごとく使って財政は破綻しませんか。住民との間にズレがあるように思う。このアンケートも読んで終わりなら、お金の無駄。大切な町のお金を本当の住民のために使ってください。
合併、病院建設（場所）、公共下水道、高台開発など重要な事業の選択、決定を議会だけするのではなく、住民の直接投票で意志を問う制度を作ってください。町内放送や広報「みなみ」だけでなく、テレビやパソコン、スマホで見える行政情報配信をデジタル化に加えてほしい。
これからも美波町をにぎやかそしてほしいと思います。きれいな町の名前なのでもっとたくさんの人に知ってほしいと思います。
ささいなことだが役場の周りをきれいにする。花を植える。たばこのすいから入れをのけるなど。政策推進課という名前に期待している。美しくあたたかい町づくり。
公正・平等なまちづくり。町議員減らしたらよい。
亀太郎の服装をもっとスマートにならないか。甲羅が取ってつけたみたいでおかしい。
住民に意見ばかり聞くのではなく、「まちづくり」を町として、どのように実行し、計画を立てているのでしょうか。他の市町村は、どのようにしているのでしょうか。調べたことはありますか。外に出て足を運んで町の実状を職員の皆様は、本当に把握しているのでしょうか。町民に対する情報があまりにも少な過ぎます。町民は日々生活に追われています。行政に無関心にならざるを得ません。言い訳のように定期的に行わないで、日々努力して下さい。上司が職員一人一人に面談をして、町の実状をどれだけ把握しているのか、聞き取り調査をして公表して下さい。男女の比率や各地区の高齢比率等、全てです、町の状況を知らずに町づくりはできません。
税金は、少ないと思うので、国に働きかけて、国からや他（個人、団体）の方法で投資を受け入れるよう、頑張ってください。津波に対する対応を。
町民へのインフォメーション、コミュニケーションが必要。知ることも参加になると思う。
交通マナーの悪さやルール違反の高齢者が多い。自動車、自転車、歩行者、全てにおいて言える。町独自の交通安全講習を行い、美波町に住む人が安心、安全に暮らせる町づくりを進めてほしい。
図書館以外で自習スペースの開放をしてほしい。公民館はあるが、市内等の喫茶店と値段が変わらず、利用しにくい。
環境・施設整備について（34）
古民家をうまく利用できるまち。
山河内ですが水道がほしいです。
道のゴミが気になる。ゴミが捨てられているのが多すぎる。
上勝町のような家庭で不用になった品物のリサイクルや不用食料品の必要な人への支援など、町として取り組んでいただけたら助け合って無駄のない地球環境に優しい生活ができると思います。
空家が多くなりました。安全面を考え、撤去や再利用など、町もいい案を考えてほしい。
空家が多く、きれいにしてほしい。地震対策や古い家の耐震に積極的な補助をしてほしい。
まちの豊かな自然や景観をこれからも守っていけるようこれからも頑張ってください。
川遊びにきてごみを捨てて帰る人間が多い。どこにでも車を止める。
水がとてもきれいなのでとにかく水を大切に守ってほしい。
下水道の充実。水洗トイレの普及。
大戸地域において水は大きな問題です。水がなければ水道局で何百リットルもの水を買わなければなりません。先進国と思えない水のシステムです。自治体は大戸地域が存続することを望んでいないのでしょうか。いつかはなくなる地域だから、そのままでもいいと思いませんか。
最低限水道を通してほしい。負担額が高すぎる。
猫の避妊活動を希望します。日和佐道路に獣が通れる道がほしいです。動物病院がほしい。

和歌山への研修等で亀がちゃんと戻ってくる浜にしてほしいです。地域一体で自治会等へ研修するなどして、獣害対策してほしい。
山の中の一軒家に住んでいますが、これから先自動車に乗れなくなったら買い物もタクシーで行かなければ足がなく、病院通いも不便です。水道もなく、山からホースで家まで引いてきて何度も水の元へ見に行かなければならず、冬には水が枯れてなくなり、生活が大変です。どうかしてください。
ごみごみした路地には、空き家が多くあり、景観を損ねている。廃屋、雑草伸び放題、しかもこれから先も増える。加えて救急車、消防車が通れない所もあり、生活道路をまずどうかしてほしい。
山河内地区は水不足がある。山の水で生活をしている人が多い。
地域に上水道がないので、やはり水に関する対策をお願いしたい。
スーパーの商品が高い。そのため町外で買うことが多い。
野良猫がととも増えています。糞被害等、衛生問題が多く、何らかの対応をしてほしい。
柔軟剤等の人工香料やマイクロカプセルに使われるイソシアネートが健康を害する成分です。人へも環境へも害のあるこれらの使用を止める啓発をしていただきたいです。海亀の来る美しい美波町の自然を守るためにもどうぞよろしくお願いします。参考資料を同封させていただきます。
上勝町のようにいつでも搬入可能なリサイクルセンターがあればよいと思う。
公園を増やしてほしい。
車がなくても生活が成り立つよう、ネットスーパーが使えるエリアにしてもらいたい。
由岐と日和佐のそれぞれ一角にダンボール・新聞・雑誌・古着・食器など置くコーナーの設置。
子どもたちがもっと安全に遊べる場所を増やしてほしい。古くて危ない住宅、道を整備してほしい。
ラジオの電波をキャッチできません。お寺も公民館も無理です。災害時に停電になると情報が入りません。3、4年前の台風の時ドコモの電波もはいりませんでした。
日和佐川の清流を残すためにも、ドイツの近自然工法を見本にしてほしい。コンクリート護岸は生物や自然に悪影響。
猿の多さについて、町で罾を設置してほしい。神山町は町が貸し出しを行い、それで猿が減り農作物が守られている。神山購入の罾は「移動式地獄檻、協和リクレイム」など。
とにかく上下水道を整備してほしい。生きる上で不可欠なライフラインの水が、夏場、湯水時、使えなくなるとことがストレスでしかない。猿などの害獣対策してほしい。
伸びっ放しの草木について、個人で刈るのが難しい（道の脇や町の所有地等）場所の草木を、見栄えよくできたらと思う。
現在は、竜宮公園があり子どもたちが遊びに行っていますが、遠くにあり、小さい子どもたちや高齢者は往復に大変です。もしも地震発生により津波が来るような状況になると、途中危険な海岸沿いを通ります。そのため、もっと安全な場所に公園を造ることを望みます。誰もが安心して、時間を過ごせることでしょう。孫が遊びに行く時は、車で送り迎えしている状況です。
きれいなまちづくりを心がけ、実践してほしい。常に落ち葉やゴミが山積みしている道路（住宅地）。堤防の外にある潰れた小屋（見苦しく汚い、またトタンが飛び回っている）。浜にある放棄ゴミ（不法投棄）。津波が来ると小屋の廃材が凶器になる。堤防の上にある工作物は合法なのだろうか。錆びた鉄骨だらけの建物。地震で倒壊すると道路をふさいでしまう。道路の上部を覆う木々と葉（車に引っかかる）。道路を覆いかぶさる木々の手入れは、道路管理者それとも木々の所有者、いずれがするのであろうか。野良猫（屋外飼育の猫を含む）糞尿。道路を我が物顔で横断したり、飛び出してくる猫。他にもたくさん「汚れ」がある。町をのんびり自転車で巡ると「汚れ」に気がつきません。転入を希望する人たちは、住環境として「見た目」は大事です。
産業・雇用について（31）
漁業、農業、林業のリーダーシップを発揮。
道の駅も建物はよいが内部の充実、商品の豊富さ、通路の幅などもう少し改善した方がいいと思う。
高校が二つ無くなったことで町に活気がありません。駅の周囲とか図書館前の広い道路がもったいないと感じます。桜町の門前町は歯抜けの店なので、もっと日和佐駅周辺に力を入れて。道の駅も中途半端、持ち込みで食堂をもっと大きくしたらと思う。お土産もこれといった物も無いと感じる。
経営が厳しくなり後継者がいなくなっている。第一次産業に目を向けて、もっと地場産業に活気が出るようになってもらいたいと思います。
スーパーの商品が高いので町外へ買い物に行くようになる。
まずは、産業（職場を増やしてほしい）の充実をしてほしい。

企業誘致してほしい。
仕事口が少ない、質が低い。
店をもっと増やしてほしい、飲食店が少なすぎる。美波町だけでこと足りる町にしてほしい。阿南まで行かなくてもいいように。日和佐での買物は価格が高いので遠のいてしまう。
産業、特に農林水産業が周辺自治体と比べて弱い気がします。
最近ドラッグストアなどできて便利になりましたが、もっと大きなスーパーとかいろんな店があったらと思います。地元の人が働ける企業も呼んでほしいです。高知県の「モネの庭」とか「室戸水族館」のように工夫があれば辺りな所でも人はたくさんきます。桜とか牡丹とか花菖蒲とか種類だけでも季節毎に人が来ます。薬王寺の下にお店ができていますが、薬王寺と大浜だけでは観光的に弱いと思います。植物園のようなものを作って、地元には花づくりの上手な高齢者の人とかも居ると思うので、あと若い人もそういう所で働いてもらったらどうでしょうか。
最盛期から比べた大幅な人口減少を止め、人口増加へと転換する行政。地域産業の活性化、地場産業の活性化、地場産業を生かした働く場所の提供を考えてほしい。
求人を増やせば、人口が増える。
若い人の働く場所や仕事があればよいと思う。
田、畑、森林が荒れていくことがとっても悲しい。一時産業への取り組みで何かできないか。土地の所有者などと上手に連携できれば希望はあるのでは。
全ての地域産業への支援の拡充。第一次産業の再生。自然環境や風情ある町並みは地域の重要な資源です。未来に受け継ぐためにご尽力ください。
高齢であっても働ける場所を美波町に作ってほしい。
買物が不便です。特に衣料品・本などは阿南方面まで行かないといけない。小規模でいいので複合的な商業施設があればいいのと思います。
山が杉ばかりだと災害や獣害が増えるので広葉樹と針葉樹を混合させて将来里山として活かせる林業をすすめてほしい。宮崎県諸塚村のモザイク林相や日和佐の樵木材業を広げてほしい。
第一次産業の活性化なくして経済の発展はなし。育てる漁業、農産物のブランド化、美波町ブランドの新しい特産物をつくる。新しい品種の野菜や果物など。例、バナナ、アボガド、激辛とうがらし。
赤松地区とか、山間部を活用し、農業の促進、企業の誘致を計り、財政豊かな雇用促進につながる計画を進めてもらいたいです。
海や川がありながら、魚の住まない海や川になっている。原因はいろいろあると思うが、磯焼けや黒潮の影響等、栄養不足によるプランクトンの減少。岸壁のブロックをアミノ酸を混ぜたコンクリートで造ったら、海藻が多く付着して環境がよくなる。カキ養殖の町では海が浄化され過ぎて、プランクトンが少なく、カキの生育が悪いので、鶏糞を養殖場に放出したところ、プランクトンが増えて、生育が例年の3倍以上になったとか、こういうニュースを参考にして、漁業復興を願います。
企業誘致。現役、子どもたち、リタイヤ世代もプラスの影響を与えられると思います。可能なら美波町で暮らし、働きたいです。
時々、白い灯台までウォーキングしていますが、大浜を眺めていると心が沈みます。元うみがめ荘の廃虚状態は限界集落の現実を感じます。桜町、薬王寺を中心に休日には賑わっていますが、大浜、カレットに立ち寄った時がっかりするのでは。若者を増やすには、会社、工場等の誘致だと思います。ずっと前から思っていますが、全然感じられません。
第一次産業の繁栄に力を入れてほしい。漁場を豊かにする。木材の流通経路を見出す等、これにより二次、三次産業につながると思う。
町通りに町のにぎわいに何か欲しい。通って目に入るもの。見て楽しいものなど。
定住・移住促進について (26)
美波町役場の職員に地元の方は何%いますか。移住促進とありますが、何故美波町に住んでいない人がそれを考えて取り組もうとするのですか。美波町に住もうという考えは無いのですか。
移住を促進するための取り組みがあるとのことですが、どのような結果が得られましたか。またその結果を得て今後どのように取り組んでいきますか。
若い人が残ってくれる町づくりをお願いします。
移住者のその後の支援も考えてほしい。
美波町で生まれ育った子どもたちが将来、生活の拠点を築いていけるような場所になってほしい。
住んでくれる人を呼んでください。若い人に来てもらって下さい。

今後町の急激な人口減少を止めるには、若年層（特に中高生）への優遇が必要だと思います。この層は漠然と田舎から出たがる人も多く、特に夢や目標が無くても卒業と同時に町外・県外へ流出する人が大半です。自分の中学の同級生は20人程度でしたが、半分程は21歳現在で県外（町外）に拠点があります。中高生の内に「美波町に残ってもいいかな」と早めに意識付けることで流出を防ぎ、残った人の結婚、出産によって人口も若干増加するのではないのでしょうか。
コロナウイルスにより、仕事もリモートワーク、テレワークが増えいく中で、魅力的な美波町を見せ、移住者を増やす取り組みを続けてほしい。具体的に趣味を全力でできる遊び場、キャンプ場、登山、スケボー、インライン・BMWができるような公園、クライミング施設、釣り場など。サーフィンをするために移住する人が多いように、趣味が全力でできる場を求めて移住する人は多い。美波町も魅力的な場所がもっと増えればいいと思う。
町外より移転してくれるような町に変わるべき。町全体の高台移転による町づくり、道路、インフラの整備等、町外からの移転につなげ、賑わいのある町に変えていく。自然や行事、祭り等は、県外に負けない物があると思います。
出て行ったものが帰って来なくなる町づくり（雇用、収入、安心、安全）を優先に町づくりを行ってほしい。そのために行政には走り回って仕事をしてもらいたい。特に町長には町民に寄り添って、話を聴いてもらいたい。太いパイプを使って、仕事を引っ張ってきてもらいたい。
公共機関や国が努力しても、美波町の立地や環境や今の人口的にも限界があると感じる。少子高齢化を表現しているような町で人口増加やまちづくりを目指しても、既存の住民は他県、他町の移民を受け入れられないようなイメージがある。なかなか田舎の閉鎖的な性格は変わらないしなおらない。
前から美波町に住む人も移住してくる人も暮らしやすい美波町であってほしい。
若い人が安心して家がもてる町。
試行錯誤して皆で何かすすめていければよいと思います。人の減は避けられませんが、住んでいる人が何か喜びを感じられる町であればよいと思っています。
門前街通りが電器店改装中ですがこんなことばかりして美波町に永住してくれるのでしょうか。年月がたてば、また静かな町並になるのでは。
移住者の方に補助金を多く使いすぎず、町民にもっと有意義になるようにしてほしい。
空家や家を貸したい人のマッチング。若い人が住みやすい町（学校、スーパー、病院、働く場所）。
若者が働き住める魅力ある町づくりをしてほしい。
長く住んでいる町民と移住者とのコミュニケーションを円滑に進める手助けなど、アフターフォローにも力を入れてほしい。住みやすい町づくりを目指すのであれば、もっと町民の声を聞いてほしい。
住み続けるわけでもない移住者に補助金を出す制度が疑問である。
少子化対策。若年、子育て世帯の移住を増やす政策を。
居心地のよい町にしてほしいです。このままでは、若者は外に出る一方だと思います。
新しい店や人への補助が大きいですが、町に住み続ける人や昔から引き継がれた店の応援もきちんとしてもらえるとうれしい。移住してきた人は温かく迎えられるが、それ以外で町へ来る人にも受け入れや優しい人との出会いなど最初にあるとうれしい。安心できる。
防災・減災・防犯について（23）
災害に強い町が必要。地震、津波に対する考え方が不十分だ。
地震、津波に対応できる町づくりをお願いします。
津波対策で公民館の屋上にも避難できるように対策してほしい。老人などは数分から十数分では徒歩で山や数百メートル先の避難場所まで移動し階段をのぼるのは難しいと思うので、スロープなどでシルバーカートなどを押したままのぼればと思う。
日和佐地区には津波の避難タワーや避難所などの整備に力が入っているようですが、由岐地区にはそういったものは数少ないです。木岐地区は山に避難へします。住民の生命に関心をもってほしいです。避難する山にテントなどの避難グッズを置いたり、山へあがるための階段の点検や修理に力を入れてください。美波町は日和佐地区、由岐地区があります。きちんと考えてほしいです。
美波町のある地区に引っ越したいという人がいましたが、住めるところがなくて違う所に行きました。津波が来た時に、店がすべて浸水地域にあるので災害後、食料がどうなるのか心配です。
災害があっても避難場所がない。
外灯がなさ過ぎる。夜は暗いので、防犯上、危ない。
津波対策。住民の話し合いなどを繰り返し行って、災害に備える。

津波があっても逃げる所が充分ありません。海辺に近いので心配しています。近所は高齢者ばかりです。道路がでこぼこして危険です。高低がない道路にしてほしいです。
いつ起こるかかわからない地震、津波への防災関係。桜町には高台避難所がまだなく予定地もあるように思えません。早急に建設してほしい。寺前地区の願いです。高台ができる前までをお願いします。
南海トラフ巨大地震による津波被災を回避するため、高台移転などの対策を町をあげて積極的に推進していただきたい。美波町で住み続けられるようにできるだけ早く整備をお願いします。
由岐町に高台に住宅建設をお願いしたい。
健康ブームでマラソンやサイクリングが安全にできるように川沿いや農道に街灯を増やしてほしい。増やせば、防犯にもなるし、事故も減ると思う。
美しい豊かな自然を守ってほしい。防災や減災に向け、みんなで取組めるようにしてほしい。赤ちゃんの防災対策はどのようになっているのですか。
避難訓練は形式だけに終わっている感があり現実に近い形を考えるべきではないか。徒歩による避難訓練で避難場所は周知されている。東由岐は高台がなく相当数の車（大型トラックを含む）で避難するものと思われる車の避難場所の明示・周知が必要ではないか。車は災害後に多面的に活用できる。
現在進行中の高台整備事業を早く進めるべきである。津波は明日くるかもしれない。
津波が来ることを想定して、車で避難したいと思っている人は多いと思います。特に海岸沿いは家が密集し、古い家や空き家が目立ちます。地震が来れば、狭い道路は歩くこともできないかも。
南海地震がいつ起きてもおかしくない状況なので、地震や大津波のことを思うと不安です。津波被害を防ぐために高台への移転ができるといいと思います。
病院や特別養護施設が高台にあり、子どもの施設の小学校や中学校が埋め立て地で地震の際に液状化しそうな場所にあるのは、おかしい。
日和佐川沿いの擁壁工事は、景観を壊すだけで、津波対策にはならないと思う。
港の前の道に高い堤防ができてるのが悲しいです。大学から久々に日和佐に帰ったら、いつも見えていた港と向こうの景色が見えなくなって、別の場所みたいで辛くなりました。防災のために仕方ないかもしれないけど、高い柵に覆われているみたいで閉塞感もあるし嫌です。
道路・交通網の整備について（19）
病院の送迎バス、乗車数ゼロでの運営の意味があるのか。もっと利用している人の声を聞いて、本数、時間帯、検討すべき。役場に相談しても無駄と言う声をよく耳にします。利用したい人がいても、今の時間帯、本数では利用しづらい。このようなさまざまな住民の声を多く聞き入れてくれるまちづくりをしてほしい。移住促進も大事だが小さな住民の声をもっと大切に。
巡回バスを広範囲に運行させてください。手をあげたら停留所といわず止まってください。
自家用車を運転するのが一番便利ですが、高齢になり運転が難しくなった時に公共交通機関の充実を。汽車の本数を増やしてほしい。
現交通のバス運行を住民の利便性を考えて運行コースを変更し、いろいろな店、駅等のコースにして、途中上下車ができるようにしたらいいと思う。
汽車の本数が少ない。汽車の運賃が高い。海がとてきれい。
阿南の方の学校へ通っている人がたくさんいるのに汽車の本数が少なくて、何時間も待たなければならぬことがよくあるのがとても不便です。
田舎の一軒家ですが人の出入りは多く、道の悪いのが心配です。
病院のみのバス廃止。神山町のサービス参考にす。
志和岐地区は高齢化率が特に高く、今は車を運転していますが近いうちにはできなくなります。バスの回数を由岐地区のように増やしてください。行きはバスを利用しても帰りのバスがなかったり、タクシーがつかまらなかったりして困っています。志和岐から自由に出かけられません。
免許がないので交通が不便。高齢者で免許を返納した方も多くなっているので、コミュニティーバス等を運行して欲しい。タクシーも負担が大きく、日祝は定休日に出かけたい時に遊びにも行けない。
バスやJRの公共交通機関を充実させてほしい。
子どもの通学路が国道になっているが、歩道がなく、大変危険である。
観光・イベントについて（15）
他の町にない美波町に来たくなるような魅力的な一つ何かあればいい。

旧ホテル村（山河内）で新しい方がキャンプ村をしていると聞きました。都会の方がたくさん来て美波町の美しい山、海が口こみで広がるとよいと思います。インターネットで宣伝するのもよいと思います
すばらしい田井の浜を情報発信して観光に生かしてほしいと願っています。堤防や砂浜にハートマークをデザインして恋人の聖地的なことは素敵だと思います。
自然を生かしたイベント。今でも行っているウォーキング。トレイルラン。新しいプランがあればいいです。西河内方面（旧道）サイクリング。
コロナが始まってから夏祭りなどがなかったため、今年は夏まつりができる、できないに限らず花火を打ち上げてほしい。他の市町村では上っているのに、美波町で観れないのは寂しい。
美波町に住み始めて約5年、県外からの友達を招待した時にどこに連れて行ったら喜んでくれるかと考えた時に思いつく場所がありません。自然が沢山あることは素敵なポイントなので、他の田舎がやっていない、自然に少し手を加えたスポットがいくつかあればと思います。晴れた時の田井の浜が絶景だと思っているので、「絶景プランコ」は映えるのでいいと思います。時期は限られますが、ここに来たら100パーセント観れるという蛍スポット。ここまでなら立ち入ってもよいというエリアを明確にすると、蛍も守れるし人も癒される。淡路島にクレヨンしんちゃん、ドラクエの世界観などがあるように、アニメやゲームのキャラクターと一緒に写真を撮れるのも人気だと思います。自然を壊さず自然と共存するキャラクター「ピクミン」や「ポケモン」が草の中から顔を出していたら、すごくかわいし、拡散したくなるだろうなと思います。誘致に成功したら若者は喜びそう。遠方からも観光に来てもらえるようにするなら、公衆トイレは絶対きれいで明るい所があればいいと思います。
由岐病院跡地をドックランができる公園に整備してほしい。田井の浜をもっと観光に活用すればいい。特に手を入れずにベンチ、テーブルがあり、キャンプが、バーベキューサイトとかアウトドア系で楽しめたら人が寄せられるのでは。管理はシルバー人材とか高齢者が働けたらと思う。
美波町の自慢できる、人に勧められるスポットや食べ物などをもっと増やしてほしい。高齢者や子供にやさしい何か魅力的な物がほしい。田井ノ浜や大浜海岸を整備し、施設などを作ってほしい。
観光の目玉商品がほしい。南阿波サンライン活用し有料で海遊び、キャンプ場を作るなど
ミシュラン観光で四国がクローズアップされている。今後世界中から観光客が来ることも考えられるので、美波町の良さをアピールしてまた来たいと思われるように取組んでほしい。例えば日和佐の伊勢エビは安定して獲れているから活用する、コンパクトな観光地巡り（電動サイクルの利用）のための専用道の設置、サンラインからの磯道への延長でさらによい場所を確保する等。
祭り以外で町全体が和合結束できるような機会、結婚につながるような出会いとなるようなところを町が先陣きってつくってほしいです。
新たな観光の名物になるものとして、任天堂の「おいでよ、どうぶつの森」とコラボ。美波町の薬王寺参拝のキャラや港、田井ノ浜、郵便局など町のスポットごとにモニュメントを置く。インスタなどSNSで若者を中心に美波町を知ってもらい、PRができる。全国から遍路だけでない層が来る。「おいでよ、美波の里へ」。田井ノ浜にインスタスポットみたいな巨大プランコとか映えるものがあればいいと思う。
教育について（10）
交通の便がよくなると、通学に選択肢が広がる。
教育、高等学校がほしい。
学校が少なくなっているので全体的な活気がなく、少し寂しい様子がある。高校が2校なくなったのは大きい。子どもたちが訪れたいような企画があると、土日だけでも盛り上がると思う。
赤松地区のように、地区の歴史も重要だと思う。文化の啓蒙活動もまちづくりの一助になると思います。俳句の町にして下さい。お遍路さんがカレットを通して回除大橋を渡って下さるよう阿南市福井に由岐コースの案内板を設置して下さい。絶景の町として観光コースになると思います。
四国八十八ヶ所札所の中で23番薬王寺をもっとまちづくりの中に入れ込んでいったらいいと思う。例えば、弘法大師の教えを子どもたちに寺子屋風に学んでもらう場作りとか。薬王寺の歴史とか、知らないことが多いので、大人でも学びたい。
高校を二つともなくしてしまったのかとても残念に思っている。子どもの声があちこちで聞こえる町にできないものかといつも考えている。海あり山ありを生かして子育てしやすい町、子どもが集まってくる施設をつくるとか。

高校からは必ず町外に出ないといけないので、その支援をもっと充実させてほしい。JR もよく止まるのでどうにかならないか。（臨時バスなど）
登校できない小中学生（不登校問題について）、学校には行けないが勉強したいと思っている子どもたちに対して「ZOOM」等で、授業を受けたら出席扱いにするなど、多様な教育のあり方を提示できるような教育行政を進めてほしい。コロナにより、ますます重要かつ早急に行うことが必要になってくると思われる。県や町の単独でもっと推し進めて個性を出し、その個性に反応して子どもたちが行きたい場所が地域に増えることが理想であると思う。オルタナティブスクールなど、もっと公立で運営してもよいと思う。
県外の大学と協定を結び、防災や町づくり等を研究する学生のフィールドワークの場を設けて、地方創生や地域復興に広い視野で取り組むべきである。
高校が町外なので、どうしても汽車に乗ります。本数が少なく授業が終わっても2時間は待ち時間があったり、乗り遅れると次がなかなかであったり困っています。町づくりの計画の中で通学のことも考えてもらいたいです。
地域の交流、取組みについて (9)
公民館活動を活発にしたい。町に住んでいる多くの人が高齢になっても歩いて行ける位置にあり、多くの人が活発にグループ活動や文化活動などで集まって交流して、元気になれるようなところになるといいなと思います。
日和佐地区と由岐地区との意識の差がありすぎている。せめて、子どもたちにはお互いの地区の相互理解を深めてほしい。
父が地域の役員をしていますが選出が偏り、我が家の地区にあたることが多いので減らしてほしい。
由岐と日和佐との交流度の高くなることを望む。
ボランティア等、会合など制限が強化されれば成り立たない。若者が少なくなり、地域活動が維持できなくなりそう。
日和佐は本庁があり、若い人もいて活気もある。由岐は、置いてきぼりになっている。
ボランティアの活動が少ないように思います。イベント、伝統行事、その他の活動に企業の参加が少ないと思います。町民・行政・企業、バラバラなのは。リーダーが少ない。子どもたちを含めて意見を交わしましょう。
由岐地区の活性化にも力を入れてほしい。防災に力を入れているのはよくわかるが、それだけだと魅力ある町づくりは出来ない。むしろ、津波への不安から町外へ移住する人（特に若者）がもっと増えるのではないかと。日和佐地区と同じことをやっても駄目だと思うが、水産業への公的支援や自然資産へのテコ入れ、観光の振興等、「にぎやかそ」を由岐地区でも具現化して行ってほしい。
由岐地区と日和佐地区は1対1（同等）の推進で願いたい。
子育て支援について (9)
若い人たちが子育てするのに必要な生活基盤の充実が必要と思う。
子どもたちが遊べる公園をつくってほしい。
子育て支援事業を重視してもらいたい。コロナで他の町や市に行きづらいが、ずっと子どもと家で過ごせない。町内で園開放や児童館など利用できる所はあるが、子ども園は主に水曜日だし、児童館は開放のみでマンネリ化する。他の市や町は、様々なイベントを企画、開催していて親子同士で交流することができる。コロナ禍での子育ては、今まで以上に孤独化しやすい気がする。町内で子育て支援事業を充実する事で、他町・市からも利用する人が来町し、町の活性化につながると思う。
遊具のある公園、または公園を増やしてほしい。
高齢者が多い町ですが、子どもにももっと目を向けてほしい。
子育て支援の充実をよろしくお願い致します。
子育て世代が暮らしやすい町に。子どもたちが安心して休日に遊べる公園等があればよいと思う。
出産を機に、地元である美波町に戻ってきました。子育ての相談ができる助産師さんがいるなど子育てにとっても手厚いと感じていますが、由岐地区には公園がないので気軽に遊べる所がほしいと思います。
アンケート調査について (8)
80歳すぎた年寄りにこのアンケートは難しすぎるし、質問が多すぎる。アンケートに「わからない」という項目をつけておいてほしい。
アンケートばかりで具体的に進むものがない。アンケートもよく意図がわからない質問が多い。項目も多すぎてポイントがぼやける。

アンケートをスマホでできるようにしてほしい。
アンケートの結果を広報で発表するか、ホームページで発表すると決めてからアンケートを行ってほしい。せっかくアンケートを記入したのに、町政に反映されていなければ、アンケート自体、作ることが時間の無駄になってしまう。何らかの形で公表されることを希望します。
学生も同じ内容のアンケートで高校生には難しい内容な気がします、日頃からまちづくりに対する熱心な活動が見受けられ、一緒に盛り上げたいという気持ちが湧いてくるのも事実です。
新聞で見ましたが、町の職員は、町外の人が多く、災害の時にすぐに対応できるのかと不安です。アンケートを取るのもよいと思いますが、町の職員さんが、美波町に愛着を持って、もっと町のことを知ってほしいと思います。アンケートが形だけの参考だったら、本町にお金の無駄使いだと思います。このアンケートが参考になるのかと思いながら回答しました。ぜひ、役立つものにして下さい。そうでなければ、アンケートは無駄だと思います。
質問が長いので、疲れた。
健康・医療・福祉について (8)
ひとり暮らしの人に安否を聞きまわってほしいです。2、3ヶ月に1度でよい。
60歳代～70歳代向けに、筋力体操を指導する人がいたらよい。地区別に体操も続けられたら健康でいられる人が増えていくと思う。(指導者は地区別に日を決めて移動してほしい)
障害児や障害者の福祉の充実(療育機関や児童デイなど)。
いろいろな人がいろいろなことに参加できやすい。困ったことがあったらすぐ相談できる場所、いろいろな年齢の人が集まる場所やイベント、いつまでも自分の家で生活できるようなサポートを充実させてもらいたい。元気な高齢者の人でも一人暮らしや人との交流が少ない人への話し相手。
高齢者が多いので、各地域でのラジオ体操などの(祭日・休日)促進、散歩など。
病院関係の充実をお願いします。
若い人は都会で生活し、美波町では高齢者の一人暮らしや夫婦のみの老々介護が増えているように思う。病院や施設の看護師、介護士スタッフを早急に確保しておかなければ、人材不足の深刻な事態が予測されるように思う。
特になし (1)
その他 (17)
古くから伝統や良さを守りながら、進化していけたらよいと思う。
急に何かを変えるのではなく、少しずつでもよくなるよう期待しています。
昔の町に戻ってほしいと思います。何もかも人任せ、行政任せになってしまいました。
家も人もだんだん少なくなっている。若い人は住めないようになってきている。
毎日、とにかく静かな方がいいので、子どもも大人もやかましくしないでほしい。私は美波町が嫌いです。仕事だけでできればいいです。あまり期待したこともないし、期待していません。
基本的な社会ルールを守り、安全、安心で暮らしやすい町づくり。
にぎやかさ、は初めて聞く言葉です。にぎやかさが何をさしているのかよくわかりませんが、子どもの声を耳にしません。子どもの声が増えると、町も明るくなり、元気が出ると思います。
小、中学生の頃に、作文等で書いたことのある未来のまちの想像図とは、現在はずいぶん違っていますが、それでも町外の方から見れば、魅力があるのか、移住者がたくさんいる。思い出のある場所も思い入れのある場所もずっと残ることはないんだと、ここ数年特に実感。
50から60才代における、地域の負担がこれから大きくなるのではないかと、今後のことを考えると不安になる。

美波町 総合計画策定に関するアンケート調査
【結果報告書】

発行年月： 令和4年6月

発行： 徳島県 美波町

編集： 美波町 政策推進課

〒 799-2395

徳島県海部郡美波町奥河内字本村 18-1

T E L : 0884-77-3616

F A X : 0884-77-1666
